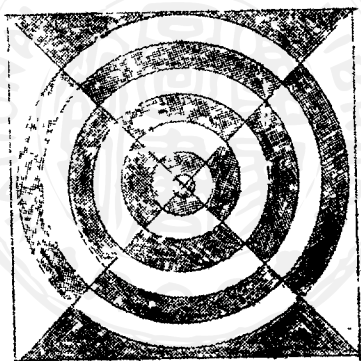


# 高等 平面三角法指導



002849140



光明新數學普及會發行



# 第一章 三角函数

## §1. 角の測定

角  $\angle XO A$  は其頂点  $O$  を一端として半直線  
が其角の平面に於て  $O X$  の位置から  $O A$  の位  
置まで廻轉して生ず

夕エノト考ヘルトキ、

$O X$  を此角の第一

辺又ハ首線、  $O A$  一

ヲ第二辺又ハ動

徑ト称ヘル。サウキレハ動徑の廻轉の方向  
ハニ様アル。トナルカラ次ノ規約ヲ設ケ  
ル。

(I) 動徑カ時計ノ針ノ廻轉ト反対ノ方向ニ  
廻轉シテ生ンタ角ヲ正ノ角トシ。

(II) 動徑カ時計ノ針ノ廻轉ト同方向ニ廻轉  
シテ生ンタ角ヲ負ノ角トスル。

而シテ動徑カ其ノ頂点ノ周圍ヲ廻轉スル  
廻轉數ニハ別ニ制限ガナイ、故ニ動徑ノ或

國家圖書館



002849140

位置 = ヨツヲ表ハサレル角ノ大サハ無限ニ  
 多クアルコトニナル。今角  $\angle O A$  ノ表ハス  
 無数ノ角ノ中、絶対値ノ最小ナルヲトツテ  
 ソノ大サヲ  $\alpha$  トスルトコレヲ主値トイ  
 ヒ其値ハ二直角ヨリハ小ナル正又ハ負ノ角  
 デアル。一般ニ角  $\angle O A$  ハ

$$4 \text{ 直角} \times n + \alpha$$

ヲ表ハサレコレヲ一般角ト稱スル。但シ  
 ハ零又ハ正、負ノ任意ノ整数ヲ表ハス

## §2. 角ノ單位.

角ノ單位ニハ六十分法ト弧度法トノ  
 二種類カアル

六十分法。コレハ実用上ニ用ヒラレル角  
 デ、ソノ單位ハ1直角ノ  $\frac{1}{90}$  ヲ  $1^\circ$  (度)、 $1^\circ$ ノ  $\frac{1}{60}$   
 ヲ  $1'$  (分)、 $1'$ ノ  $\frac{1}{60}$  ヲ  $1''$  (秒) トスル

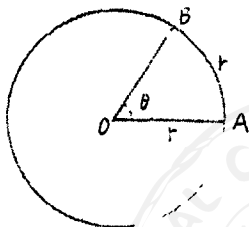
弧度法 中心  $O$ 、半径トナル円ニ於テ、半径、  
 ト等長ナル弧  $AB$  ノ上ニ立ツ中心角ヲ  $\theta$  ト  
 スレバ、幾何學ノ定理ニヨリ

$$\theta : 360^\circ = (\text{弧} AB) : (\text{全円周})$$

$$= r : 2\pi r \quad (\text{但し } \pi \text{ は円周率})$$

$$\therefore \theta = 360^\circ \times \frac{r}{2\pi r} = \frac{180^\circ}{\pi}$$

$$\text{故} = \theta = 57^\circ 29' 57'' \dots = 57^\circ 17' 44''.806 \dots$$



トナソラコノ $\theta$ ノ大サハ  
半径ノ如何ニ関セテ一  
定不易ノ値ヲ有スルコ  
ノ角ヲ(Radian)ト名ツケ

テ理論ヲ主トスル場合ノ角ノ単位ニ用ヒル  
而シテ(Radian)ヲアルコトヲ通例單ニ角  
 $\alpha$ 又ハ角ノ弧度ハ $\alpha$ ヲアルト云ソテ單位ノ  
名称(Radian)ヲ略スルコトカアル

サテコノ定義ニヨリ1(Radian) =  $\frac{180^\circ}{\pi}$   
ヲアルカラ

$$180^\circ = \pi \text{ (Radian)}$$

$$\text{從ソテ } 90^\circ = \frac{\pi}{2}, \quad 60^\circ = \frac{\pi}{3}, \quad 45^\circ = \frac{\pi}{4}$$

$$30^\circ = \frac{\pi}{6} \quad \text{等ヲアル}$$

今或角ヲ大十分法ヲ計レバ $x^\circ$  弧度法ヲ  
計レバ $\theta$ ヲアソタトスレハ次ノ關係式カ

成立スル

$$180^\circ : x^\circ = \pi : \theta$$

$$\text{故} = x = \frac{180\theta}{\pi} \quad (1) \quad \text{又} \quad \theta = \frac{x\pi}{180} \quad (2)$$

コレーツノ角ノ六十分法ト弧度法トノ關係式ヲ、(1) = ヨツテ弧度法ノ角ヲ六十分法ノ角ニス (2) = ヨツテ六十分法ノ角ヲ弧度法ニ直スコトガ出来る

(例題)  $22^\circ 30'$ ヲ弧度法ヲ又弧度 $0.47$ ヲ六十分法ヲ長ハセ。

(解) (i)  $\pi$  ムル弧度ヲ $\theta$ ニスル!

$$\theta = \frac{22.5\pi}{180} = \frac{\pi}{8} (= 0.39270 \dots)$$

(ii)  $\pi$  ムル角ヲ $x^\circ$ ニスルト

$$x^\circ = \frac{180^\circ \times 0.47}{3.1416} = 26^\circ 55' 40''.8 \dots \quad \text{但} \pi = 3.1416 \text{トス}$$

### §3 円弧ノ長さ 扇形ノ面積

中心 $O$ 半径 $r$ ナル円ニ於テ任意ノ中心角 $\angle AOC$ ノ弧度ヲ $\theta$ ,  $\widehat{AC}$ ヲ $l$ トスル 今 $\widehat{AB}$

ヲト = 等しいスレバ

$\angle AOB$  ハ 1 (Radian) デア

ル 故 =

$$l : r = \theta : 1$$

$$\therefore l = r\theta \quad \text{又ハ} \quad \theta = \frac{l}{r}$$

即チ円弧ノ長サハ半径トソノ弧ニ対スル  
中心角ノ弧度トノ積ニ等シイ。又角ノ弧度  
ハコノ角ニ対スル弧ノ長サト半径トノ比ニ  
等シイ

次ニ扇形  $AOC$  ノ面積ヲ求ム

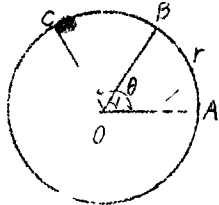
$$A : \pi r^2 = \theta : 2\pi$$

$$\therefore A = \frac{1}{2} \theta r^2$$

故ニ扇形ノ面積ハソノ中心角ノ弧度ト半  
径ノ平方トノ積ノ半ニ等シイ

### 練習問題 1

1. 次ノ諸角ノ中テ十分法、モノハコレ  
ヲ弧度法ニ、弧度法ノモノハコレヲ十分  
法ノ角デ表ハセ。



- 1)  $120^\circ$  2)  $135^\circ$  3)  $150^\circ$  4)  $5^\circ 37' 30''$   
5)  $32'$  6)  $\frac{\pi}{12}$  7)  $\frac{\pi}{15}$  8)  $0.75$

2. 三角形ノ三ツノ角ガ等差級数ヲナストキ、最小角ヲ六十分法テ表ハンタ数值ト、最大角ヲ弧度法テ表ハンタ数值トノ比ガ  $60:\pi$  デアルト云フ三ツノ角ヲ求ム

3. 正九边形ノ内角ノ大キサヲ弧度法ヲ表ハセ

4. 半径ガ  $6370 \text{ km}$  デアル円ニ於テ、中心角ガ  $1^\circ$  = 対スル弧ノ長サヲ小数第四位ニテ求メヨ

5. 直径ガ  $18 \text{ cm}$  デアル円ニ於テ長サガ  $10 \text{ cm}$  ナル円弧ニ対スル中心角ガ  $143^\circ 14' 22''$  デアルトイフ、 $\pi$  ノ値ヲ小数第四位マデ示メヨ

6. 地球自轉ノ速度、赤道上ヲハ毎分約幾哩デアルカ、但シ地球ノ半径ヲ  $3960$  哩トスル

7. 月ノ直径ガ地球ニ於テ張ル角ハ  $31'$  テ



ナル 地球ト月トノ距離ヲ 240000 哩ト  
シテ月ノ直径ヲ算出セヨ。

#### §4 直角座標.

一ノノ平面上ヲ互ニ直交スルニ定直線。  
 $XX'$ ,  $YY'$  ヲ引キ、ソノ交点ヲ  $O$  トスル。ソ  
ノ平面上ノ任意ノ一点  $P$  カラ  $XX' =$  垂線ヲ  
立テ、其足ヲ  $M$  トスル。コノ場合ニソノ線  
分  $OM$ ,  $PM$  ノ長サカワカルト点  $P$  ノ位置ハ  
定マ

今  $OM = a$ ,  $PM = b$  トスルト  $(a, b)$

ヲ点  $P$  ノ直角座標 又ハ單ニ座標ト云ヒ

ニ定ム。線  $XX'$ ,  $YY'$  ヲ

座標軸ソノ交点  $O$  ヲ

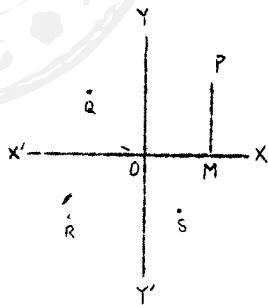
原点ト云フ。而シテ

$XX'$  ヲ  $X$  軸 又ハ横軸

ト云ヒ  $YY'$  ヲ  $Y$  軸 又ハ

縦軸ト云フ。点  $P$  ノ

座標ノ中  $a$  ヲ  $x$  座標



又ハ横座標ト云ヒ  $b$  ヲ  $y$  座標 又ハ縦

## 座標トマフ.

点 = 点ノ位置 = ヨリ × 座標ハ 0 ノ左又ハ右ニ、 $y$  座標ハ  $x, x'$  ヨリ上又ハ下ニアルコトガアル。ソレヲ点ノ位置 = ヨツテ座標 = 正、負ノ符号ヲツケル。ソノ規約ハ次ノ通りデアアル。

(I)  $x$  座標ハ点ガ  $y$  軸ノ右方 = アルトキハ正数デ、左方 = アルトキハ負数デ表ハス。

(II)  $y$  座標ハ点ガ  $x$  軸ノ上方 = アルトキハ正数デ、下方 = アルトキハ負数デ表ハス。

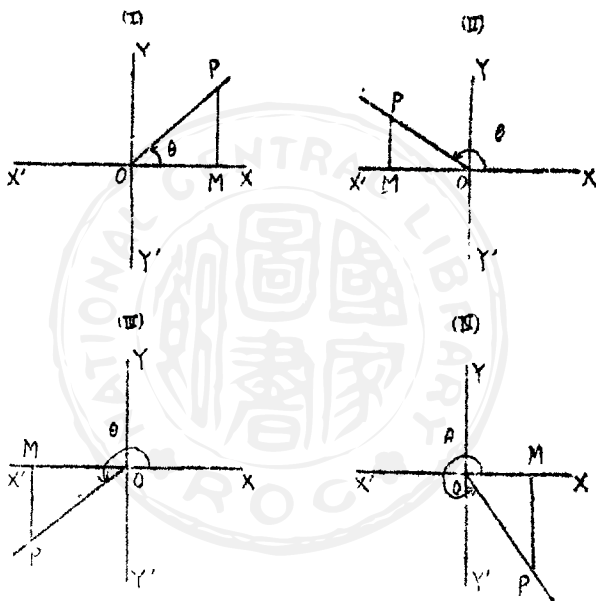
サウスレバ、 $x$  軸、 $y$  軸、 $x'$  軸、 $y'$  軸ノ座標ガ定マリ、逆 = 座標ガ定マリ、 $x$  軸、 $y$  軸ハ唯一ツノ点ガ常ニ定マル。

高座標軸 = ヨツテ分レメ四ツノ平面ノ部分即チ  $xOy, yOx', x'Oy', y'Ox$  ノ内部ヲ順次 = 第一、第二、第三、第四象限ト呼フ。

コノ象限内ノ角ヲ畫クトキ = ハ通常角ノ頂点ハ原點ニ、首線ハ  $Ox'$  = 一致スルヤク = 午クモノトスル。

## 35 三角函数

角  $\theta$  の頂点を原点  $O$  とし、始線が  $Ox$  上  
 一致マシキタキ、動径ノ位置ヲ  $OP$  ト



スル ( $OP$ ノ位置ニヨリ圓ノマクニ四通り  
 ノ場合ヲ生スル), 今動径上ニ一点  $P$  ヲト  
 リ,  $P$ ノ座標ヲ  $(a, b)$ ,  $OP$ ノ長サヲ  $r$  トスル  
 コノ  $a, b$ ハ  $OP$ ノ位置即チ  $\theta$ ノ大サニヨツ  
 テ正又ハ負ノ線分ヲ表ハスニテアルガ。

OP ハ 常ニコレヲ正ナル線分ト規約スル  
コノトキ、

$\frac{b}{r}$  ヲ角  $\theta$  ノ 正弦 トイヒ、コレヲ  $\sin \theta$  テ表ハス

$\frac{a}{r}$  ヲ角  $\theta$  ノ 餘弦 トイヒ、コレヲ  $\cos \theta$  テ表ハス

$\frac{b}{a}$  ヲ角  $\theta$  ノ 正切 トイヒ、コレヲ  $\tan \theta$  テ表ハス

$\frac{a}{b}$  ヲ角  $\theta$  ノ 餘切 トイヒ、コレヲ  $\cot \theta$  テ表ハス

$\frac{r}{a}$  ヲ角  $\theta$  ノ 正割 トイヒ、コレヲ  $\sec \theta$  テ表ハス

$\frac{r}{b}$  ヲ角  $\theta$  ノ 餘割 トイヒ、コレヲ  $\operatorname{cosec} \theta$  テ表ハス

而シテコノ六ツノ比ヲ總稱シテ角  $\theta$  ノ 三  
角函数トイフ、此三角函数ノ値ハ角ノ大キ  
サノミニ因シテ定マルモノデ、OP ノ長カニ  
ハ関係シナイ、

角  $\theta$  ノ 動径ガトノ象限内ニ存スルカニ  
ソテ  $a, b$  及ビ三角函数ノ符号ハ定マル即チ  
次ノ通りテアル、

$a, b$ 函数	象限	I	II	III	IV
$a$		+	-	-	+
$b$		+	+	-	-
正弦 餘割		+	+	-	-
餘弦 正割		+	-	-	+
正切 餘切		+	-	+	-

## § 6 三角函数ノ基本公式

三角函数ノ定義カラ直チニ次ノ公式ヲ得  
ヲルル、

$$\sin \theta \operatorname{cosec} \theta = 1, \quad \cos \theta \sec \theta = 1, \quad \tan \theta \cot \theta = 1$$

及ヒ"  $\tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta}, \quad \cot \theta = \frac{\cos \theta}{\sin \theta}$

次ニ前節ノ圖ニ於テ、 $\triangle OPM$ 、ハ直角三角形  
ヲ形成スルカ故ニ、 $a, b, r$ ノ正、負ノ關係ヲ  
Pythagorasノ定理カラ

$$r^2 = a^2 + b^2$$

$$\text{故ニ} \quad \left(\frac{b}{r}\right)^2 + \left(\frac{a}{r}\right)^2 = 1 \quad 1 + \left(\frac{b}{a}\right)^2 = \left(\frac{r}{a}\right)^2,$$

$$\left(\frac{a}{b}\right)^2 + 1 = \left(\frac{r}{b}\right)^2$$

$$\therefore \sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1, \quad 1 + \tan^2 \theta = \sec^2 \theta,$$

$$1 + \cot^2 \theta = \operatorname{cosec}^2 \theta$$

注意  $(\sin \theta)^n$  ヲ通例  $\sin^n \theta$  ノ記ス 他モ同

儀 但  $n = -1$  ノトキヲ除ク。

或角ノ三角函数ノ中ノ一ノノ値ヲ知ルト

キハ、上記ノ公式又ハ、直角三角形ノ性質ニヨ  
ツテ他ノ五ツノ函数ノ値ヲ求ムルコトヲ出  
来ル。

例題 1.  $\cos \theta = \frac{\sqrt{5}+1}{4}$  デアルトキ、他ノ三角  
函数ノ値ヲ求メヨ

(解)  $\frac{\sqrt{5}+1}{4} > 0$  デアルカラ  $\theta$  ハ第一又ハ第  
四象限内ノ角ヲアル。

$$\therefore \sin \theta = \pm \sqrt{1 - \cos^2 \theta} = \pm \frac{1}{4} \sqrt{10 - 2\sqrt{5}}$$

$$\tan \theta = \pm \frac{\sin \theta}{\cos \theta} = \pm \frac{\sqrt{1 - \cos^2 \theta}}{\cos \theta} = \pm \sqrt{5 - 2\sqrt{5}}$$

$$\cot \theta = \frac{1}{\tan \theta} = \pm \frac{1}{\sqrt{5 - 2\sqrt{5}}} = \pm \sqrt{1 + \frac{2}{5}\sqrt{5}}$$

$$\sec \theta = \frac{1}{\cos \theta} = \frac{4}{\sqrt{5}+1} = \sqrt{5} - 1$$

$$\operatorname{cosec} \theta = \frac{1}{\sin \theta} = \pm \frac{4}{\sqrt{10 - 2\sqrt{5}}} = \pm \sqrt{2 + \frac{2}{5}\sqrt{5}}$$

但  $\theta$  が第一象限内ノ角デアルトキハ複符  
号中正ノ符号ヲトリ、 $\theta$  が第四象限内ノ角デ  
アルトキハ負ノ符号ヲトル。

## 練習問題 2

1.  $\tan \theta = \sqrt{1 - \frac{2}{3}\sqrt{5}}$  デアルトキ、他ノ三角函  
数ノ値ヲ求ム。

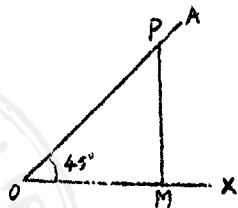
2.  $\sin \theta = \frac{m^2 - n^2}{m^2 + n^2}$  を與へて他ノ三角函数ノ  
 値ヲ求ム、

但  $m > n > 0$  トスル

### § 7. $45^\circ, 30^\circ, 60^\circ$ ノ三角函数

(I)  $45^\circ$  ノ三角函数ノ値

$\angle XOA = 45^\circ$  トシ、 $OA$  上  
 ノ任意ノ一点  $P$  カラ  $OX$   
 = 垂線  $PM$  ヲ下ストキハ、



$\triangle POM$  ハ直角ニ等辺三角形トナル。今  
 $OM = PM = a$  トスレバ  $OP = \sqrt{2}a$  ナル。

$$\text{仍テ } \sin 45^\circ = \frac{PM}{OP} = \frac{1}{\sqrt{2}}, \quad \cos 45^\circ = \frac{OM}{OP} = \frac{1}{\sqrt{2}}$$

$$\therefore \sin 45^\circ = \frac{1}{\sqrt{2}} = \cos 45^\circ$$

$$\text{従ツテ } \tan 45^\circ = 1 = \cot 45^\circ$$

$$\sec 45^\circ = \sqrt{2} = \operatorname{cosec} 45^\circ$$

(II)  $30^\circ, 60^\circ$  ノ三角函数ノ値

$\triangle ABC$  ヲ一辺ガ  $a$  ナル正三角形トシ、  
 $AD$  ヲ  $BC$  へノ垂線トスル。サウスルト、

-14-

$$BD = \frac{a}{2}, \quad AD = \frac{\sqrt{3}}{2} a$$

トナリ

$$\cos 60^\circ = \frac{BD}{AB} = \frac{1}{2} = \sin 30^\circ$$

$$\therefore \cos 60^\circ = \frac{1}{2} = \sin 30^\circ$$

従って

$$\sin 60^\circ = \frac{\sqrt{3}}{2} = \cos 30^\circ$$

$$\tan 60^\circ = \sqrt{3} = \cot 30^\circ$$

$$\tan 30^\circ = \frac{1}{\sqrt{3}} = \cot 60^\circ$$

$$\sec 60^\circ = 2 = \operatorname{cosec} 30^\circ$$

$$\sec 30^\circ = \frac{2}{\sqrt{3}} = \operatorname{cosec} 60^\circ$$

(例題)

$$\frac{\sin A}{\sin B} = \sqrt{2} \quad (1), \quad \frac{\tan A}{\tan B} = \sqrt{3} \quad (2)$$

アアルトキ、A 及ビ B、最小正角ヲ求ム

(解) (1) カラ  $\sin A = \sqrt{2} \sin B$  (3), (2) カラ、

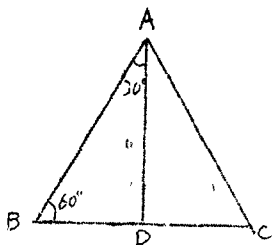
$\tan A = \sqrt{3} \tan B$  (4), (3) ヲ (4) ヲ除シ

$$\cos A = \sqrt{\frac{2}{3}} \cos B \quad (5)$$

(3) ト (5) トヲ平方シテ加ヘルト

$$1 = 2 \sin^2 B + \frac{2}{3} \cos^2 B = 2 \sin^2 B + \frac{2}{3} (1 - \sin^2 B)$$

$$\therefore \sin^2 B = \frac{1}{4} \quad \therefore \sin B = \pm \frac{1}{2}$$





故に  $B$  の最小正角は  $30^\circ$  である (3) の  
 $A$  の最小正角は  $45^\circ$  となる。而してこれ  
 等しいものは (1) 及び (2) を満足する

### 練習問題 3

1.  $\triangle ABC$  において  $C=90^\circ$  とする

$$a = c \sin A = c \cos B, \quad b = c \cos A = c \sin B$$

$$\text{及} \quad a = b \tan A = b \cot B$$

なることを証明せよ、但し  $a=BC$ ,  $b=CA$ ,  
 $c=AB$  とする。

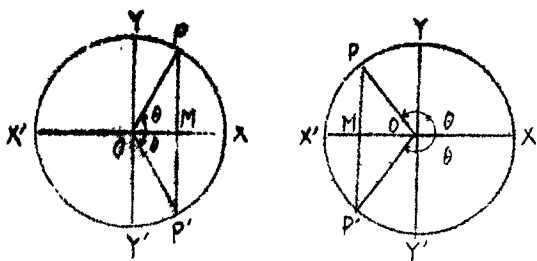
2.  $\frac{\sin A}{\sin B} = \sqrt{3}$ ,  $\frac{\tan A}{\tan B} = 3$  であるとき  $A, B$  の  
 最小正角を求めよ。

3.  $\frac{\sin A}{\sin B} = \sqrt{\frac{3}{2}}$ ,  $\frac{\cos A}{\cos B} = \frac{1}{\sqrt{2}}$  であり  $A, B$  の最小  
 正角を求めよ。

### §8 負角, 一般角, 補角, 餘角, 三角函数

(1) 負角, 三角函数

次図に於て  $\angle XOP = \theta$ ,  $\angle XOP' = -\theta$  とす



$N$ :  $O$  を中心とし、任意の半径の円を置き、  
 動径と交点を夫々  $P, P'$  とスル。サウスル  
 $P$  の座標を  $(a, b)$  とスレバ  $P'$  の座標ハ  
 $(a, -b)$  とナル。

故に  $OP = r$  とスレバ

$$\sin(-\theta) = \frac{-b}{r} = -\frac{b}{r} = -\sin \theta$$

$$\cos(-\theta) = \frac{a}{r} = \cos \theta$$

即ち  $\sin(-\theta) = -\sin \theta, \quad \cos(-\theta) = \cos \theta$

従って  $\tan(-\theta) = -\tan \theta, \quad \cot(-\theta) = -\cot \theta$

$\sec(-\theta) = \sec \theta, \quad \operatorname{cosec}(-\theta) = -\operatorname{cosec} \theta$

注意  $x$  の函数  $f(x)$  へ  $f(-x) = f(x)$  が成立

スルトキハ  $f(x)$  を偶函数トイヒ、

$f(-x) = -f(x)$  が成立スルトキハ  $f(x)$  を

奇函数ト云フ。

故 = 餘弦, 正割ハ偶函数ヲ, 正弦, 正切, 餘切, 餘割ハ奇函数デアル

(II) 一般角ノ三角函数

先テ選ベヨヤウナ角 $\theta$ , ト角 $2\pi\pi + \theta$  ( $\pi$ ハ零又ハ任意ノ整数) トガ頂点及ビ首線ヲ共有スル角ニアレバ, ソノ動徑ハ一致スル。

$$\text{故} = \sin(2\pi\pi + \theta) = \sin \theta, \quad \cos(2\pi\pi + \theta) = \cos \theta$$

$$\tan(2\pi\pi + \theta) = \tan \theta, \quad \cot(2\pi\pi + \theta) = \cot \theta$$

$$\sec(2\pi\pi + \theta) = \sec \theta, \quad \operatorname{cosec}(2\pi\pi + \theta) = \operatorname{cosec} \theta$$

$$\text{系} \quad \sin(2\pi\pi - \theta) = \sin\{2\pi\pi + (-\theta)\} = \sin(-\theta) = -\sin \theta$$

$$\cos(2\pi\pi - \theta) = \cos\{2\pi\pi + (-\theta)\} = \cos(-\theta) = \cos \theta$$

$$\text{故} = \sin(2\pi\pi - \theta) = -\sin \theta, \quad \cos(2\pi\pi - \theta) = \cos \theta$$

$$\text{從テ} \quad \tan(2\pi\pi - \theta) = -\tan \theta, \quad \cot(2\pi\pi - \theta) = -\cot \theta$$

$$\sec(2\pi\pi - \theta) = \sec \theta, \quad \operatorname{cosec}(2\pi\pi - \theta) = -\operatorname{cosec} \theta$$

(III) 補角ノ三角函数

一般ニ角 $\theta$ ノ正負ニ關セズ $\pi - \theta \mp \theta$

補角ト云フ。

$$\text{次圖} = \text{於テ} \quad \angle XOP = \theta, \quad \angle XOP' = \pi - \theta$$

-18-

トスレバ  $\angle MOP = \angle M'OP'$

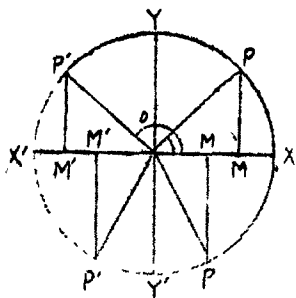
ヲアル

故ニ  $P$  ノ座標ヲ  $(a, b)$

トスレバ  $P'$  ノ座標ハ

$(-a, b)$  ヲアル。今

$OP = r$  トスレバ



$$\sin(\pi - \theta) = \frac{b}{r} = \sin \theta$$

$$\cos(\pi - \theta) = \frac{-a}{r} = -\frac{a}{r} = -\cos \theta$$

$$\text{又 } \sin(\pi + \theta) = \sin\{\pi - (-\theta)\} = \sin(-\theta) = -\sin \theta$$

$$\cos(\pi + \theta) = \cos\{\pi - (-\theta)\} = -\cos(-\theta) = -\cos \theta$$

$$\therefore \sin(\pi \pm \theta) = \mp \sin \theta, \quad \cos(\pi + \theta) = -\cos \theta$$

$$\text{從テ } \tan(\pi \pm \theta) = \pm \tan \theta, \quad \cot(\pi \pm \theta) = \pm \cot \theta$$

$$\sec(\pi \pm \theta) = -\sec \theta, \quad \csc(\pi \pm \theta) = \mp \csc \theta$$

但複符号ハ同順ニトルモ、トスル

系  $\pi$  ヲ任意ノ整数トスレバ

$$\begin{aligned} \sin\{(2n+1)\pi \pm \theta\} &= \sin(2n\pi + (\pi \pm \theta)) \\ &= \sin(\pi \pm \theta) = \mp \sin \theta \end{aligned}$$

$$\text{同様ニ } \cos\{(2n+1)\pi \pm \theta\} = \cos(\pi \pm \theta) = -\cos \theta$$

$$\therefore \sin\{(2n+1)\pi \pm \theta\} = \mp \sin \theta,$$

$$\cos\{(2n+1)\pi \pm \theta\} = -\cos \theta$$

$$\text{従ッテ } \tan\{(2n+1)\pi \pm \theta\} = \pm \tan \theta,$$

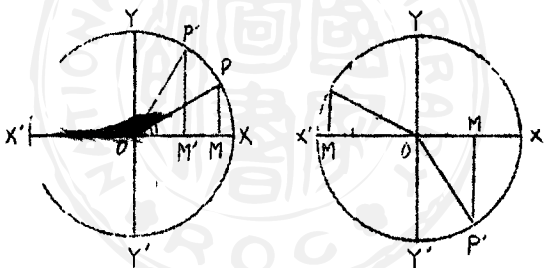
$$\cot\{(2n+1)\pi \pm \theta\} = \pm \cot \theta,$$

$$\sec\{(2n+1)\pi \pm \theta\} = -\sec \theta,$$

$$\operatorname{cosec}\{(2n+1)\pi \pm \theta\} = \mp \operatorname{cosec} \theta$$

但複符号ハ同順トス。

#### 四 餘角ノ三角函数



一般ニ角  $\theta$  , 正角ニ關テス  $-\frac{\pi}{2} - \theta$  ヲ  $\theta$

餘角ト云フ。

圖ニ於テ  $\angle XOP = \theta$  ,  $\angle XOP' = \frac{\pi}{2} - \theta$  ト

マルト

$$\angle MOP = \angle P'OY$$

而シテ  $\triangle POM \cong \triangle P'OM'$  テアル 故ニ  $P$

ノ座標ヲ  $(a, b)$  トスレバ  $P'$  ノ座標ハ  $(-a, b)$

ト + IV.  $\triangle OP = r$  ト ス ヲ ハ

$$\sin\left(\frac{\pi}{2} - \theta\right) = \frac{a}{r} = \cos \theta$$

$$\cos\left(\frac{\pi}{2} - \theta\right) = \frac{b}{r} = \sin \theta$$

$$\text{又 } \sin\left(\frac{\pi}{2} + \theta\right) = \sin\left\{\frac{\pi}{2} - (-\theta)\right\} = \cos(-\theta) = \cos \theta$$

$$\cos\left(\frac{\pi}{2} + \theta\right) = \cos\left\{\frac{\pi}{2} - (-\theta)\right\} = \sin(-\theta) = -\sin \theta$$

$$\therefore \sin\left(\frac{\pi}{2} \pm \theta\right) = \cos \theta, \quad \cos\left(\frac{\pi}{2} \pm \theta\right) = \mp \sin \theta$$

$$\text{從テ } \tan\left(\frac{\pi}{2} \pm \theta\right) = \mp \cot \theta, \quad \cot\left(\frac{\pi}{2} \pm \theta\right) = \mp \tan \theta$$

$$\sec\left(\frac{\pi}{2} \pm \theta\right) = \mp \operatorname{cosec} \theta, \quad \operatorname{cosec}\left(\frac{\pi}{2} \pm \theta\right) = \sec \theta$$

但複符号同順トス

乘  $n$  ヲ 偶数 ト ス ヲ ハ

$$\sin\left\{n\pi + \left(\frac{\pi}{2} \pm \theta\right)\right\} = \sin\left(\frac{\pi}{2} \pm \theta\right) = \cos \theta$$

又  $n$  ヲ 奇数 ト ス ヲ ハ

$$\sin\left\{n\pi + \left(\frac{\pi}{2} \pm \theta\right)\right\} = -\sin\left(\frac{\pi}{2} \pm \theta\right) = -\cos \theta$$

$$\text{例テ } \sin\left\{\left(n + \frac{1}{2}\right)\pi \pm \theta\right\} = (-1)^n \cos \theta$$

$$\text{同様 } = \cos\left\{\left(n + \frac{1}{2}\right)\pi \pm \theta\right\} = \mp (-1)^n \sin \theta$$

$$\text{從テ } \tan\left\{\left(n + \frac{1}{2}\right)\pi \pm \theta\right\} = \mp \cot \theta$$

$$\cot\left\{\left(n + \frac{1}{2}\right)\pi \pm \theta\right\} = \mp \tan \theta$$

$$\sec\left\{\left(n + \frac{1}{2}\right)\pi \pm \theta\right\} = \mp (-1)^n \operatorname{cosec} \theta$$

$$\operatorname{cosec}\left\{\left(\pi + \frac{1}{2}\right)\pi \pm \theta\right\} = (-1)^n \sec \theta$$

但  $n$  は任意ノ整数ヲ表ヘシ、複符号ハ同値  
ニトルモノトスル

(例題) 1.

$$\frac{\sin(-\theta)}{\sin(\pi + \theta)} + \frac{\tan\left(\frac{\pi}{2} + \theta\right)}{\cot \theta} + \frac{\cos \theta}{\sin\left(\frac{\pi}{2} + \theta\right)} \quad ?$$

簡單ニセヨ

$$\text{(解)} \quad \text{英式} = \frac{-\sin \theta}{-\sin \theta} + \frac{-\cot \theta}{\cot \theta} + \frac{\cos \theta}{\cos \theta} = 1$$

次ニ英ハヨレタ角ノ三角函数ノ値ヲ求ム  
ルニ当リ、角ガ負ヲアルトキ又ハ大キナ角ヲ  
アルトキハ、上記ノ公式ヲ用ヒテ正ノ  $90^\circ$  ヨ  
リ小ナル角ノ同一函数ニ直スコトガ出来る  
尚函数ノ種類ヲ変スルコトヲ許セバ、正ノ  $45^\circ$   
ヨリ小ナル角ノ他ノ函数ニ直シ得ルコトガ  
アル

(例題) 2.  $\sin(-9846^\circ)$  ヲ  $90^\circ$  ヨリ小ナル正  
角ノ正弦ニ直セ、又  $45^\circ$  ヨリ小ナル正角ノ  
餘弦ニ改メヨ、

$$\begin{aligned} \text{(解)} \quad \sin(-9846^\circ) &= \sin(180^\circ \times 55 - 54^\circ) \\ &= -\sin 54^\circ \\ &= -\sin(90^\circ - 36^\circ) = -\cos 36^\circ \end{aligned}$$

(例題) 3.  $\cos(-2640^\circ)$  の値ヲ求ム.

$$\begin{aligned} \text{(解)} \quad \cos(-2640^\circ) &= \cos(360^\circ \times 7 + 120^\circ) = \\ &= \cos(180^\circ - 60^\circ) \\ &= -\cos 60^\circ = -\frac{1}{2} \end{aligned}$$

(例題) 4.  $x$  ナ任意ノ整数ヲ  $n$  トシ

$$\sin\left\{\frac{n\pi}{2} + (-1)^n \frac{\pi}{5}\right\}$$

ノ最小正角ノ正弦ニ改メヨ

(解)  $n = 4m$  ノトキ

$$\sin\left\{\frac{n\pi}{2} + (-1)^n \frac{\pi}{5}\right\} = \sin\left\{2m\pi + \frac{\pi}{5}\right\} = \sin \frac{\pi}{5}$$

$n = 4m + 1$  ノトキ

$$\begin{aligned} \sin\left\{\frac{n\pi}{2} + (-1)^n \frac{\pi}{5}\right\} &= \sin\left\{(2m + \frac{1}{2})\pi - \frac{\pi}{5}\right\} \\ &= -\sin\left(\frac{\pi}{2} - \frac{\pi}{5}\right) = -\sin \frac{3\pi}{10} \end{aligned}$$

$n = 4m + 2$  ノトキ

$$\begin{aligned} \sin\left\{\frac{n\pi}{2} + (-1)^n \frac{\pi}{5}\right\} &= \sin\left\{(2m + 1)\pi + \frac{\pi}{5}\right\} \\ &= \sin\left(\pi + \frac{\pi}{5}\right) = -\sin \frac{\pi}{5} \end{aligned}$$



$x = 4n + 3$  のとき

$$\begin{aligned} \sin \left\{ \frac{\pi x}{2} + (-1)^n \frac{\pi}{5} \right\} &= \sin \left\{ 2(n+1) - \frac{1}{2} \pi - \frac{\pi}{5} \right\} \\ &= -\sin \left( \frac{\pi}{2} + \frac{\pi}{5} \right) \\ &= -\sin \left\{ \pi - \left( \frac{\pi}{2} + \frac{\pi}{5} \right) \right\} = -\sin \frac{3\pi}{10} \end{aligned}$$

注意  $x$  の函数  $f(x)$  に対し  $x$  の値を  $\omega$  だけ変換して常に

$$f(x+\omega) = f(x) \quad \text{但 } \omega \text{ は常数}$$

なる関係が成立スルトキ、 $f(x)$  を周期函数といひ、 $\omega$  をその周期といふ。

$$\therefore f(x+2\omega) = f(x+\omega+\omega) = f(x+\omega) = f(x)$$

$$f(x-\omega) = f(x-\omega+\omega) = f(x)$$

$$\text{一般に } f(x+n\omega) = f(x) \quad \text{但 } n \text{ は任意の整数}$$

コレヨリ見て、一般角の公式 = ヨリ、正弦、余弦、正割、餘割ハ  $2\pi$  を周期トスル周期函数ナリ又補角の公式 = ヨリ正切、餘切ハ  $\pi$  を周期トスル周期函数ナル

## 練習問題

1. 次ノ式ヲ簡單ニセヨ。

$$(i) \sec\left(\frac{3\pi}{2} - \theta\right) \sec\left(\frac{\pi}{2} - \theta\right) - \frac{\tan\left(\frac{3\pi}{2} - \theta\right)}{\cos\left(\frac{\pi}{2} + \theta\right)}$$

$$(ii) \frac{1}{\sec \theta} + \frac{1}{\operatorname{cosec}\left(\frac{3\pi}{2} + \theta\right)} - \frac{1}{\operatorname{cosec}\left(\frac{3\pi}{2} - \theta\right)} + \frac{1}{\sec(\pi + \theta)}$$

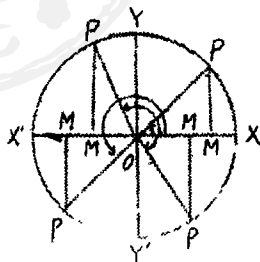
2.  $\sin 2370^\circ$ ,  $\tan(-5430^\circ)$ ,  $\sec(-1035^\circ)$ ,  
 ...ノ値ヲ求ム.

3.  $n$ カ任意ノ整数ヲ $n$ アルトキ

$$\sin\left\{\frac{n\pi}{2} + (-1)^n \frac{\pi}{8}\right\}$$
ノ値ヲ求ム.

### §9 三角函数ノ値ノ変化

角  $A$  ガ  $0$  ヨリ  $2\pi$  マテ変化スルトキ、ソレ  
 = 対応シテ三角函数ノ  
 値ガ如何ニ変化スルカ  
 ヲ研究セシ



$\angle XOP = A$  トシ、 $O$  ヲ中  
 心トシ半径ガ長サノ單  
 位ニ等シイ円(コレヲ單位円ト呼ブ)ヲ畫  
 ク、而シテ  $P$  ノ座標ヲ  $(a, b)$  トスルサウ  
 スレバ

$$\sin A = \frac{b}{r} = b, \quad \cos A = \frac{a}{r} = a$$

ナリ,  $\sin A, \cos A$  の値は変化ハ  $b, a$  の値,

変化ニ同一トナル

(I)  $\sin A$  の変化.

角  $A$  が限りなく小テアルトキハ  $b$  亦限りなく小テアル 即チ  $A$  が  $0$  テアルトキ  $b$  の極限値ハ  $0$  テアル 而シテ  $A$  が  $0$  カラ  $\frac{\pi}{2}$  マテ変化スルトキ  $b$  ハ正テソノ値ハ漸次増大シテ半径ノ長ニ近ヅキ、遂ニ  $A$  が  $\frac{\pi}{2}$  トナルトキ  $b$  ハ  $0$  一致スルカ、故ニソノ値ハ  $0$  トナル

即チ  $A$  が  $0$  カラ  $\frac{\pi}{2}$  マテ変化スルトキ、 $\sin A$  ハ正テソノ値ハ  $0$  カラ  $1$  マテ変化スル

次ニ  $A$  が  $\frac{\pi}{2}$  カラ  $\pi$  マテ変化スルトキ、 $b$  ハ正テソノ値ハ漸次減少シ而シテ  $A$  が  $\pi$  トナルトキ  $b$  ハ  $0$  トナル、故ニ  $A$  が  $\frac{\pi}{2}$  カラ  $\pi$  マテ変化スルトキニハ、 $\sin A$  ハ正テソノ値ハ  $1$  カラ  $0$  マテ変化スル 尚  $A$  が  $\pi$  カラ

$\frac{3\pi}{2}$  マテ<sup>ニ</sup>変化スルトキ、 $\sin A$  ノ絶対値  
ハ増大シ、 $A$  ガ  $\frac{3\pi}{2}$  ノトキ  $\sin A = -1$  一致ス。  
ルカラ  $-1$  トナル、故ニコノトキ  $\sin A$ 、  
負テ<sup>ニ</sup>  $0$  カラ  $-1$  マテ<sup>ニ</sup> 変化スル 更ニ  $A$  ガ  $\frac{3\pi}{2}$   
カラ  $2\pi$  マテ<sup>ニ</sup> 変化スルトキ  $\sin A$  ノ絶  
対値ハ減ケスル 而シテ  $A$  ガ  $2\pi$  トナルト  
キ  $\sin A$  ノトナル 故ニコノトキ  $\sin A$ 、負  
テ<sup>ニ</sup>  $-1$  カラ  $0$  マテ<sup>ニ</sup> 変化スル

(II)  $\cos A$ 、変化

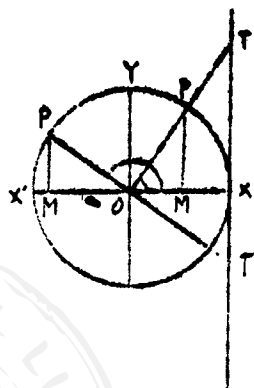
コノ場合ハ  $\alpha(OM)$  ノ変化ヲ研究スレバ  
1. 故ニ正弦ノ場合ト同様ニシテ直チニ次  
ノ事實ヲ認メルコトカ出来ル

$A$  ガ  $0$  ヨリ  $\frac{\pi}{2}$  マテ<sup>ニ</sup> 変化スルトキ、 $\cos A$ 、  
 $\cos A$  ハ正テ<sup>ニ</sup>  $1$  カラ  $0$  マテ<sup>ニ</sup> 減ケスル 次ニ  $A$   
ガ  $\frac{\pi}{2}$  カラ  $\pi$  マテ<sup>ニ</sup> 変化スルトキ  $\cos A$  ハ負  
テ<sup>ニ</sup>  $0$  カラ  $-1$  マテ<sup>ニ</sup> 減ケスル 更ニ  $A$  ガ  $\pi$  カ  
ラ  $\frac{3\pi}{2}$  マテ<sup>ニ</sup> 変化スルトキ  $\cos A$  ハ負テ<sup>ニ</sup>  $-1$   
カラ  $0$  マテ<sup>ニ</sup> 増大シ、 $A$  ガ  $\frac{3\pi}{2}$  カラ  $2\pi$  マテ<sup>ニ</sup> 変  
化スルトキ  $\cos A$  ハ正テ<sup>ニ</sup>  $0$  ヨリ  $1$  マテ<sup>ニ</sup> 増大

スル

(四)  $\tan A$  の変化

今  $\angle XOP = A$  トシ單位円ヲ置キ、 $X = \text{終ケル切線}$ ヲ引キ、 $OP$ ノ延長ト $T$ ニ交ハランメル而シテ $P$ ノ座標ヲ $(1, c)$ トオク  
 一、 $\triangle OPM$ ト



$\triangle XOT$ トハ相似形ナルガ故ニ、

$$\tan A = \frac{PM}{OM} = \frac{TX}{OX} = c$$

1. ナリ  $\tan A$  ノ変化ハ  $c$  ノ変化ニ等シイ

ナラバ  $A$  ガ  $0$  クラ  $\frac{\pi}{2}$  マテ変化スルトキ  $c$  ハ正テ  $0$  ヨリ漸次増大シ、 $A$  ガ  $\frac{\pi}{2}$  へ近迫スルトキ  $c$  ハ如何程ヲ亦大トナリテ限りカナシ  
 即チ  $A$  ガ  $\frac{\pi}{2}$  へナルトキニ即チ  $\tan A$  ノ極限值、無限大 ( $\infty$  テ表ハス) へナルトイヒ、ニレテ

$$\lim_{A \rightarrow \frac{\pi}{2} - 0} \tan A = \infty$$

ト記ス 故 =  $A$  が  $0$  から  $\frac{\pi}{2}$  マデ 変化スル  
 トキ  $\tan A$  ハ 正デ  $0$  から  $\infty$  マテ 変化スル。  
 換言スレバ  $0$  ヨリ 出發シテ 有限ナ 總テノ 値  
 マトツテ 遂ニ 無限大 マテ 変化スル 次ニ  $A$   
 が 第二象限内ノ 角デ  $\frac{\pi}{2}$  ニ 近迫スルトキ  
 即チ  $\tan A$  ハ 負デ、ソノ 絶対値ハ 如何程デモ  
 大トナシテ 限りカナイ、コレヲ

$$\lim_{A \rightarrow \frac{\pi}{2} + 0} \tan A = -\infty$$

ト記ス、故 =  $A$  が  $\frac{\pi}{2}$  から  $\pi$  マテ 変化スル  
 トキハ、即チ  $\tan A$  ハ 負デ  $-\infty$  マテ 0 まで  
 変化スル。

而シテ  $\tan A$  ハ ステ 週期トスル 週期函数  
 デアルカラ  $\pi$  から  $2\pi$  マテノ 変化ハ  $0$  から  
 $\pi$  マテノ 変化ト 同一デアル

(IV) ソノ他ノ 函数ノ 値ノ 変化

$\operatorname{cosec} A$ ,  $\sec A$ , 及ビ  $\cot A$  ハ 夫々  $\sin A$

$\cos A$  及ビ  $\tan A$  ノ 逆数デアルカラ 其等

値ノ 変化ハ 上述ノ コトカラ 導クコトガ 出来

ル、但極限値が0ナルモノノ逆数ノ極限値ハ無限大ザアル。

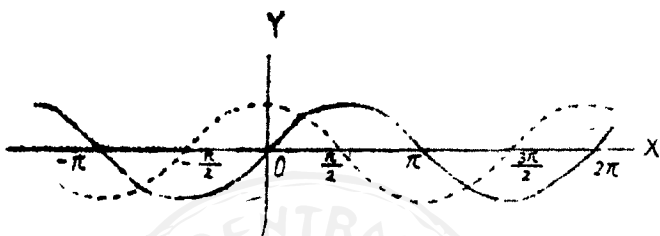
注意Ⅰ 三角函数ハ總テ週期函数デアアルカラ、 $0$ カラ $2\pi$ マデノ値ノ変化ヲ知レバ、他ノ場合ノ変化ハ $0$ カラ $2\pi$ マデノ変化ヲ繰返スニ過キナイ。

注意Ⅱ  $\tan A$  ハ角  $A$  ノ増大ニツレテ、ソノ値ハ増大スルノミデアアル。カカル函数ヲ遞昇函数トイフ、コレニ反シ  $\cot A$  ハ角  $A$  ノ増大ニツレテ、ソノ値ハ減少スルノミデアアル。カカル函数ヲ遞降函数トイフ。又  $\sin A$  ハ  $A$  が  $0$  カラ  $\frac{\pi}{2}$  マデ変化スル間ハ遞昇函数デ、 $\frac{\pi}{2}$  カラ  $\frac{3\pi}{2}$  マデ変化スル間ハ遞降函数デアアル。餘弦等ニツイテモ同様ニソノ遞昇又ハ遞降ノ状態ヲ知ルコトが出来ル。尚三角函数ノ値ノ変化ヲ一層明瞭ニ表ハスニハ、 $\sin$  ノ小ニヨルト便デアアル。

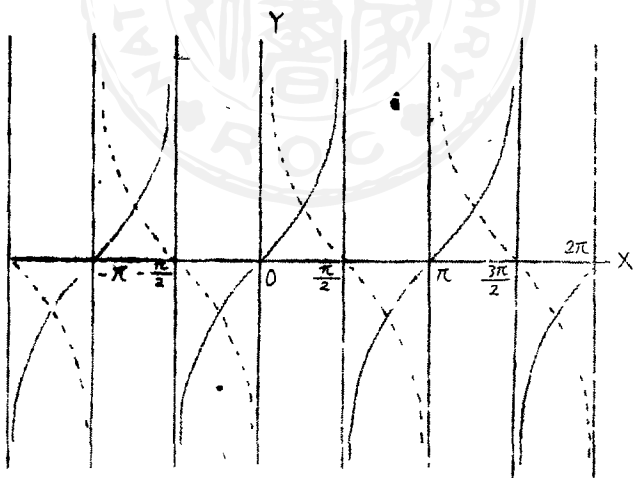
次ニ三角函数ノ $\sin$ ノ小ヲ掲ゲテオク、

-20-

(1) 實線  $\sin \theta$ , 點線  $\cos \theta$ , 點線  $\tan \theta$ , 點線  $\cot \theta$

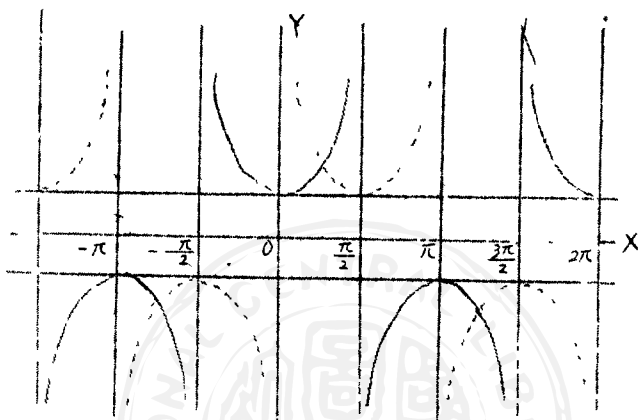


(2) 實線  $\tan \theta$ , 點線  $\cot \theta$ , 點線  $\sec \theta$ , 點線  $\csc \theta$





(Ⅳ) 実線  $\sec \theta$ 、 $\csc \theta$ 、点線  $\operatorname{cosec} \theta$ 、 $\operatorname{cosec} \theta$ 、 $\sec \theta$ 、 $\csc \theta$



(例題)  $\frac{a \sin x + b}{a \sin x - b}$  ( $a > b > 0$ ) は  $\frac{a-b}{a+b}$  と  $\frac{a+b}{a-b}$

トノ間ノ値ヲトリ得テ、イコトヲ証明セヨ

(解)  $a > b > 0$  テアルカラ

$$\frac{a+b}{a-b} > \frac{a-b}{a+b} > 0$$

テアル 今  $\frac{a \sin x + b}{a \sin x - b} = y$  トク、 $y$  ノバツト

$$\sin x = \frac{b(y+1)}{a(y-1)}$$

トナリ 且  $-1 \leq \sin x \leq 1$  テアルカラ

$$-1 \leq \frac{b(y+1)}{a(y-1)} \leq 1 \quad (\text{A})$$

≠ ナケハ、トヲヌ。

$y > 1$  テアルトキ

$$-1 \equiv \frac{b(y+1)}{a(y-1)} \quad \text{ヨリ} \quad -a y + a \equiv b(y+1) \quad \therefore \frac{a-b}{a+b} \equiv y$$

$$\text{又} \quad 1 \equiv \frac{b(y+1)}{a(y-1)} \quad \text{ヨリ} \quad a(y-1) \equiv b(y+1) \quad \therefore \frac{a+b}{a-b} \equiv y$$

故 =  $y > 1$  テアルトキ (A) が成立スルヲ

メ = ハ  $y \equiv \frac{a+b}{a-b}$  テアラネバナラヌ

$\therefore y < 1$  テアルトキハ

$$-1 \equiv -\frac{b(y+1)}{a(y-1)} \quad \text{ヨリ} \quad -a(y-1) \equiv b(y+1) \quad \therefore \frac{a-b}{a+b} \equiv y$$

$$\text{又} \quad 1 \equiv \frac{b(y+1)}{a(y-1)} \quad \text{ヨリ} \quad a(y-1) \equiv b(y+1) \quad \therefore \frac{a+b}{a-b} \equiv y$$

故 =  $y < 1$  テアルトキ (A) が成立スルヲ

メ = ハ  $y \equiv \frac{a-b}{a+b}$  テアラネバナラヌ。

而シテ  $y = 1$  ノトキハ、 $\frac{a-b}{a+b}$  ノ値ハ不能

ナル

故 =  $y$  即チ式  $\frac{a-b}{a+b}$  ト  $\frac{a+b}{a-b}$  トノ間ノ値

ヲトルコトヲ出来ナイ

### 練習問題

1.  $a$  及ビ  $b$  ノハ正ヲ相等シクナイトキ

$$\sec^2 \theta = \frac{4ab}{(a+b)^2} = \text{適スル } \theta \text{ ハ存在シナイコト}$$

ヲ証明マヨ。

2. 次ノ不等式ヲ解ケ。

$$2 \cos x - 2 \sin x + \sqrt{3} > \sqrt{3} \cot x$$

但シ  $0^\circ < x < 90^\circ$  トス

3  $2 + \sin A + \cos A$  ト  $\frac{2}{2 - \sin A - \cos A}$  トノ大小

關係ヲ調べヨ。

## § 10. 三角恒等式

三角函数ヲ含ム等式デソノ式中ニ含ム角ノ如ク行ニ關セズ恒ニ成立スル等式ヲ三角恒等式ト云フ。

例ヘバ  $\tan \theta \cot \theta = 1$  或ハ  $\sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1$

ノ如キハ何レモ三角恒等式デアル 三角恒等式ノ證明法ハ既知ノ公式ヲ利用シテ一辺ヨリ他辺ヲ誘導スルカ又ハ左右両辺ヲ變形シテ同一ノ式ニ誘導スレバヨイ。

(例題) 1.  $\sin^2 \theta \tan \theta + \cos^2 \theta \cot \theta + 2 \sin \theta \cos \theta$

$$= \tan \theta + \cot \theta$$

ヲ証明セヨ

(解) 左辺  $= \sin^2 \theta \frac{\sin \theta}{\cos \theta} + \cos^2 \theta \frac{\cos \theta}{\sin \theta} + 2 \sin \theta \cos \theta$   
 $= \frac{1}{\sin \theta \cos \theta} (\sin^4 \theta + 2 \sin^2 \theta \cos^2 \theta + \cos^4 \theta)$   
 $= \frac{(\sin^2 \theta + \cos^2 \theta)^2}{\sin \theta \cos \theta} = \frac{1}{\sin \theta \cos \theta}$

又 右辺  $= \frac{\sin \theta}{\cos \theta} + \frac{\cos \theta}{\sin \theta} = \frac{\sin^2 \theta + \cos^2 \theta}{\sin \theta \cos \theta}$   
 $= \frac{1}{\sin \theta \cos \theta}$

$\therefore$  左辺 = 右辺

(例題) 2  $\frac{\tan A + \sec A - 1}{\tan A - \sec A + 1} = \frac{1 + \sin A}{\cos A}$   $\quad \text{ト示ス}$

ヲ証明セヨ。

(解) 左辺  $= \frac{\frac{\sin A}{\cos A} + \frac{1}{\cos A} - 1}{\frac{\sin A}{\cos A} - \frac{1}{\cos A} + 1} = \frac{\sin A + 1 - \cos A}{\sin A - 1 + \cos A}$

故  $= \frac{\sin A + 1 - \cos A}{\sin A - 1 + \cos A} = \frac{1 + \sin A}{\cos A}$

ヲ証スレバヨイ、茲テ分母ヲ拂ツテ

$$\cos A (\sin A + 1 - \cos A) = (1 + \sin A) (\sin A - 1 + \cos A)$$

ヲ証スレバヨイ。然ルニコノ括弧ヲ外シテ、簡單ニスルト。

$$\sin^2 A + \cos^2 A = 1$$

トナリ、コレハ成立スル 即チ其恒等式ハ成立スル

(例題) 3  $(\sin A + \sec A)^2 + (\cos A + \operatorname{cosec} A)^2$   
 $= (1 + \sec A \operatorname{cosec} A)^2$

ヲ証セヨ。

(解)

$$\text{左辺} = \sin^2 A + 2 \sin A \sec A + \sec^2 A + \cos^2 A + 2 \cos A \operatorname{cosec} A + \operatorname{cosec}^2 A$$

$$\text{而シテ } \sin A \sec A + \cos A \operatorname{cosec} A = \frac{\sin A}{\cos A} + \frac{\cos A}{\sin A}$$

$$= \frac{1}{\sin A \cos A} = \sec A \operatorname{cosec} A$$

$$\text{又 } \sec^2 A + \operatorname{cosec}^2 A = \frac{1}{\cos^2 A} + \frac{1}{\sin^2 A} = \frac{1}{\sin^2 A \cos^2 A}$$

$$= \sec^2 A \operatorname{cosec}^2 A$$

$$\therefore \text{左辺} = 1 + 2 \sec A \operatorname{cosec} A + \sec^2 A \operatorname{cosec}^2 A$$

$$= (1 + \sec A \operatorname{cosec} A)^2 = \text{右辺}$$

## 練習問題

次の恒等式を証明せよ。

1.  $\sin \theta (\sec \theta + \tan \theta) + \cos \theta (\sec \theta + \tan \theta) = \sec \theta + \operatorname{cosec} \theta$
2.  $2(\sin^4 \theta + \cos^4 \theta) - 3(\sin^2 \theta + \cos^2 \theta) + 1 = 0$
3.  $\sec^2 A - \sec^2 \theta = \tan^2 \theta + \cot^2 \theta + 2$
4.  $\frac{\tan A - \sin A}{\tan A + \sin A} = \frac{\tan A - \sin A}{\tan A \sin A}$
5.  $\frac{1 - \cot^2 \theta + \cot \theta}{1 + \cot^2 \theta - \cot \theta} = \frac{\operatorname{cosec} \theta + \cot \theta - 1}{\operatorname{cosec} \theta + \cot^2 \theta + 1}$
6.  $\frac{1 + \sin \theta - \cos \theta}{1 + \sin \theta + \cos \theta} + \frac{1 + \sin \theta + \cos \theta}{1 + \sin \theta - \cos \theta} = 2 \operatorname{cosec} \theta$
7.  $(\operatorname{cosec} \theta - \cot^2 \theta)^2 = \frac{1 - \cos \theta}{1 + \cos \theta}$
8.  $\tan A (1 - \cot^2 A) + \cot A (1 - \tan^2 A) = 0$
9.  $2 \sin \theta \cos \theta + \sin^3 \theta \sec \theta + \cos^3 \theta \operatorname{cosec} \theta = \tan \theta - \cot \theta$
10.  $\frac{1 - \sin \theta}{1 + \sec \theta} - \frac{1 + \sin \theta}{1 - \sec \theta} = 2 \cos \theta (\cot \theta + \operatorname{cosec}^2 \theta)$
11.  $2 \sec^2 A - \sec^4 A - 2 \operatorname{cosec}^2 A + \operatorname{cosec}^4 A - \cot^4 A - \tan^4 A$

## § 11 三角方程式

三角函数を含む等式を角の特別の値 = 対し  
 の成立する等式を三角方程式といひ、其角

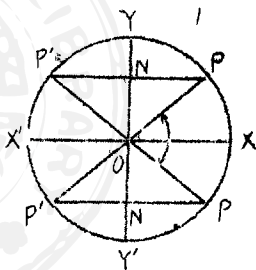
未知角トイフ。而シテ未知角ノ値ヲ求メルコト  
ヲ三角方程式ヲ解クトイヒ、其値ヲ解トイフ。

三角方程式デハ或特別ナーツノ解ヲ求メ得タ  
トキ、其方程式ヲ成立セシムル他ノ多クノ角ヲ  
見出スコトガテキル。此ノ特別ナ解ヲ特殊解  
トイヒ、他ノ總テノ場合ヲ含ム解ヲ一般解トイ  
フ。

(I)  $\sin x = a$ ノ解法、但シ

$|a| < 1$ ,  $O$ ノ中心ノレテ單  
位円ヲ畫キ  $a > 0$  デアルト

$OY$  上ニ  $a < 0$  デアル



$OY'$  上ニ  $a$ ノ絶対値ノ示スガケノ長サ  
 $ON$ ヲトリ  $N$ ヨリ  $XX'$ ニ平行線ヲ引イテ円周ト  
 $PP'$ ヲ交ランメル。サウスレバ動径  $OP = \theta$  ヲ  
表ハサレル角ノ中絶対値ノ最小ナルモノヲト

$\alpha$ トスレバ動径  $OP' = \theta$  ヲ表ハ

$\pi - \alpha$ トナリ何レモ  $\sin x = a$ ヲ

満足スル、而シテ動径  $OP$  ヲ共有スル一般角ハ  
 $2m\pi + \alpha$  テ、動径  $OP'$  ヲ共有スル一般角ハ  
 $2m\pi + \pi - \alpha$  即チ  $(2m+1)\pi - \alpha$  テアル、但シ  
 $m$  ハ任意ノ整数テアル、故ニ此ハ  $x = \alpha$  ヲ満足  
 スル  $x$  ハ

$$2m\pi + \alpha \quad \text{又ハ} \quad (2m+1)\pi - \alpha$$

ノ中ニ全部含マレ、コノ外ニハナイ、此ノニツラ  
 一ツニ違メルト

$$n\pi + (-1)^n \alpha$$

トナル、但シ  $n$  ハ任意ノ整数テアル、コ  
 レ  $\sin x = a$  ヲ満足スル  $x$  ノ一般解テアル、

系  $\cos x = a$  ノ解法、但シ  $|a| > 1$ 、

コノ場合  $\sin x = \frac{1}{a}$  ヲ解ケ、 $\forall \exists \exists$

(例題) 1.  $\sin x = -\frac{1}{2}$  ヲ解ケ、

(解) コノトキノ特殊解ハ  $-\frac{\pi}{6}$  テアル

$$\therefore x = n\pi + (-1)^n \left(-\frac{\pi}{6}\right)$$

$$= n\pi - (-1)^n \frac{\pi}{6}$$



(例題) 2  $\sin^2 x = \cos^2 x$  を解け

(解)  $\sin^2 x = 1 - \sin^2 x$

$$\therefore \sin x = \pm \frac{1}{\sqrt{2}} = \sin\left(\pm \frac{\pi}{4}\right)$$

$$\therefore x = n\pi \pm \frac{\pi}{4} = (4n \pm 1) \frac{\pi}{4}$$

$$\text{然ルニ } 4n+1 = 2(2n)+1 \quad 4n-1 = 2(2n-1)+1$$

テアルカテ  $4n \pm 1$  ハ一般ニ  $2k+1$  ノ形ニ改

メラシム

$$x = (2k+1) \frac{\pi}{4}$$

(Ⅱ)  $\cos x = a$  ノ解法 但シ  $|a| < 1$  。

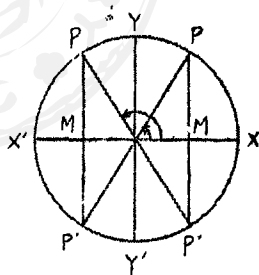
(Ⅰ) ノ場合ト同様ナ円ヲ畫

キ、 $a > 0$  テアルトキハ  $OX$

上ニ、 $0 < a$  テアルトキハ

$OX'$  上ニ、 $a$  ノ絶対値ノ示ス

ケ、長サ  $OM$  ヲトリ、 $M$  ヲ



リ  $YY'$  = 平行線ヲ引キ円周ト  $P, P'$  テ交ハラシメ

ル。サウスルト半径  $OP = r$  テ表ハサレル角、

ノ中絶対値ノ最小ナルニヲトリ、其ノ大サヲ  $\alpha$

トスレバ、動径  $OP' = a$  ヲ表ハサ、ル角ハ  $\alpha$   
 トナリ何レモ  $\cos x = a$  ヲ満足スル 而シテ、動  
 径  $OP$  ヲ共有スル一般角ハ  $2m\pi + \alpha$  デ、動径  $OP'$   
 ヲ共有スル一般角ハ  $2m\pi - \alpha$  デアル、但シ  $m$  ハ  
 任意ノ整数デアル、故ニ  $\cos x = a$  ヲ満足スル  
 $x$  ハ

$$2m\pi + \alpha \quad \text{又ハ} \quad 2m\pi - \alpha$$

ノ中ニ全部含マレ、コノ外ニハナイ、コノニツヲ  
 一ツニ纏メテ

$$2n\pi \pm \alpha$$

トスル、但シ  $a$  零又ハ任意ノ整数デアル、コレ  
 $\cos x = a$  ヲ満足スル  $x$  ノ一般解デアル、

系  $\sec x = a$  ノ解法 但シ  $|a| > 1$ 、

コノ場合  $\cos x = \frac{1}{a}$  ヲ解ケバヨイ、

∴ (例題) 1.  $\cos x = -\frac{1}{\sqrt{2}}$  ヲ解ケ、

$$\text{(解)} \quad \cos x = -\frac{1}{\sqrt{2}} = -\cos \frac{\pi}{4} = \cos(\pi - \frac{\pi}{4})$$

$$\therefore x = 2n\pi \pm (\pi - \frac{\pi}{4}) = (2n \pm 1)\pi \mp \frac{\pi}{4}$$

$$= (2k+1)\pi = \frac{\pi}{4}$$

(例題) 2,  $2 \sin^2 \theta - 5 \cos \theta - 4 = 0$  を解く.

解)  $2(1 - \cos^2 \theta) - 5 \cos \theta - 4 = 0$

$$(2 \cos \theta + 1)(\cos \theta + 2) = 0$$

$$\therefore \cos \theta = -\frac{1}{2} \quad \text{又} \quad \cos \theta = -2$$

然ルニ餘弦ノ絶対値ハ1ヲ超エナリ、故ニ  
-2ハ捨テル.

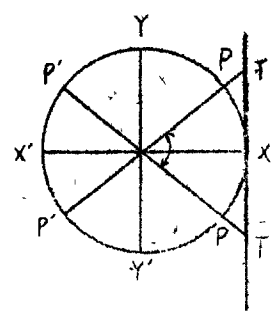
$$\therefore \cos \theta = -\frac{1}{2} = \cos\left(\pi - \frac{\pi}{3}\right)$$

$$\therefore \theta = 2n\pi + \left(\pi - \frac{\pi}{3}\right) = 2n\pi + \frac{2\pi}{3}$$

(四)  $\tan X = a$  , 解法

(I) / 場合ト同様ナ円ヲ畫キ  $X =$  於ケル切線ヲ  
引ク  $a > 0$  ナアルトキハ  $OX$  , 上方ニ切線ニ  
沿ヒ、  $a > 0$  ナアルトキハ  $OX$  , 下方ニ切線ニ  
沿フテ  $a$  , 絶対値ノ示ス如クノ長サ  $X$  トリ  
テト  $O$  トヲ結ブ直線ノ円周ト交ハル点ヲ  $P, P'$  ト  
スル、サレバ  $OP = OP'$  ナリ、 $OP = OP'$  ナリ、  
角ノ中絶對値ノ最小ナモノヲトリ其大サヲ  $\alpha$  ト

スレバ動径  $OP' = \alpha$  ヲ表  
ハサレル角ハ  $\pi + \alpha$  トナリ、  
何レモ  $\tan x = \alpha$  ヲ満足ス  
ル。而シテ動径  $OP$  ヲ共有  
スル一般角ハ  $2m\pi + \alpha$  ナリ。



動径  $OP'$  ヲ共有スル一般角ハ  $2m\pi + \pi + \alpha$  即  
チ  $(2m+1)\pi + \alpha$  ナル。但  $m$  ハ任意ノ整数ナ  
ル。故ニ  $\tan x = \alpha$  ヲ満足スル  $x$ 、

$$2m\pi + \alpha \quad \text{又ハ} \quad (2m+1)\pi + \alpha$$

ノ中ニ全部含まレコノ外ニハナシ、コレヲ一ツ  
ニ纏ムルト。

$$n\pi + \alpha$$

トナル。但  $n$  ハ零又ハ任意ノ整数ナル。コレ  
 $\tan x = 0$  ヲ満足スル  $x$  ノ一般解ナル

素  $\cot x = a$  ノ解法

コノ場合  $\tan x = \frac{1}{a}$  ヲ解ケバヨイ

(例題) 1.  $\sqrt{3} \operatorname{cosec}^2 \theta = 4 \cot \theta$  ヲ解テ。

(例)

$$\sqrt{3}(1 + \cos^2 \theta) = 4 \cos^2 \theta$$

$$\therefore \sqrt{3} \tan^2 \theta - 4 \cos^2 \theta + \sqrt{3} = 0$$

$$(\sqrt{3} \tan \theta - 1)(\tan \theta - \sqrt{3}) = 0$$

$$\therefore \tan \theta = \frac{1}{\sqrt{3}} = \tan \frac{\pi}{6} \quad \text{又} \quad \tan \theta = \sqrt{3} = \tan \frac{\pi}{3}$$

$$\therefore \theta = \pi\pi + \frac{\pi}{6} \quad \text{又} \quad \theta = \pi\pi + \frac{\pi}{3}$$

(例題) 2  $\sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 0$ ,  $\therefore$  解 $\times$ .(例題) 3  $\sin^2 \theta = 0$  即 $\times$   $\theta = \frac{\pi}{2}$ ,  $\therefore$  原方程式 $\times$  滿足 $\times$  $\therefore$  故 = 兩邊 $\times$   $\cos^2 \theta$   $\times$  除 $\times$ .

$$\tan^2 \theta = -1 \quad (\text{虛根, 捨去})$$

$$\therefore \tan \theta = -1 = \tan\left(-\frac{\pi}{4}\right)$$

$$\therefore \theta = \pi\pi - \frac{\pi}{4}$$

## 練習問題

次, 方程式 $\times$  解 $\times$ 

(i)  $\sin x = -\frac{\sqrt{3}}{2}$

(ii)  $\sin^2 x = \sin^2 \alpha$

(iii)  $2\cos^2 \theta - 7\sin \theta + 2 = 0$

(iv)  $\cos^2 x + \sin x = \frac{5}{4}$

 $\sin \theta + \theta = \sin \theta$   $\times$  解 $\times$ .

3.  $\cos \theta + \sin \theta = 1$  を解け

4. 次ノ方程式ヲ解

$$2 \sin^2 x + \sqrt{3} \cos x + 1 = 0$$

5. 次ノ方程式ヲ解け.

(i)  $\cos^2 x = \cos^2 \alpha$       (ii)  $\sin^2 x + \cos x = \frac{5}{4}$

6. 次ノ方程式ヲ解け

(i)  $\tan x = 1$       (ii)  $6 \cot^2 \theta = 1 + 4 \cos^2 \theta$

(iii)  $\sec^2 \theta + \cot^2 \theta = \frac{13}{3}$       (iv)  $\tan \alpha \tan x + 1 \neq 0$

7. 次ノ二ツノ方程式ヲ満足スル  $x, y$  ヲ求メヨ.

但シ  $x, y$  ハ何レモ  $180^\circ$  ヨリ小ナル正角トス.

$$x - y = 45^\circ$$

$$\frac{\cos x}{\cos y} = \frac{1 - \sqrt{3}}{\sqrt{2}}$$

8.  $\cos x \cos y + 1 = 0$  ヨリ  $x, y$  ヲ求ム.

## §12 消去法

其ハラレク、一組ノ方程式カラ、ソノ中ニ含マレル或特殊ノ文字ヲ含マテイ關係式ヲ作ルコトヲ

ソノ文字ヲ消去スルトイハ、得ル関係式ヲ消去式トイフ。

消去ヲ行フ方法トシテ別ニ一般ノ法則ハナイ。  
 但シ、公式ヲ用ヒテ適宜コレヲ行ヘバヨシ。

(例題) 1.  $\left. \begin{array}{l} \tan \theta + \sin \theta = m \quad (1) \\ \tan \theta - \sin \theta = n \quad (2) \end{array} \right\} \begin{array}{l} \text{ヨリ } \theta \text{ ヲ消} \\ \text{去セヨ。} \end{array}$

ヨリ (1), (2) ヲ加シテ,  $\tan \theta = \frac{m+n}{2}$  ヲ得テ

$$\tan \theta = \frac{1}{2}(m+n), \quad \sin \theta = \frac{1}{2}(m-n)$$

而シテ  $\tan^2 \theta = \frac{\sin^2 \theta}{1 - \sin^2 \theta}$

$$\therefore \frac{1}{4}(m+n)^2 = \frac{\frac{1}{4}(m-n)^2}{1 - \frac{1}{4}(m-n)^2}$$

コレヲ簡約スルニ

$$(m^2 - n^2)^2 = 16mn$$

コレ求ムル解去式ヲ得ル

(例題) 2.  $\left. \begin{array}{l} y = x \cot \theta + a \tan \theta \quad (1) \\ x \cot^2 \theta - a \sin \theta = c \quad (2) \end{array} \right\} \begin{array}{l} \text{ヨリ } \theta \text{ ヲ消去} \\ \text{セヨ} \end{array}$

(解) (1)<sup>2</sup>  $y^2 = x^2 \cot^2 \theta + 2ax \cot \theta + a^2 \tan^2 \theta$

-66-

$$= \frac{ax}{\cos^2 \theta} + by + a^2 \tan^2 \theta$$

又 (2) より  $\tan^2 \theta = \frac{ax}{b^2}$ , これを上式に代入する

$$y^2 = 4ax$$

これを求める消去式で求める。

$$\left. \begin{aligned} \text{(例題) 3. } \frac{ax}{\cos \theta} - \frac{by}{\sin \theta} &= a^2 - b^2 & (1) \\ \frac{ax \sin \theta}{\cos^2 \theta} + \frac{by \cos \theta}{\sin^2 \theta} &= 0 & (2) \end{aligned} \right\} \Rightarrow \text{①}$$

$\theta$  を消去する

$$\begin{aligned} \text{(解)} \quad \frac{\frac{ax}{\cos \theta}}{\frac{\cos \theta}{\sin \theta}} &= \frac{-\frac{by}{\sin \theta}}{\frac{\sin \theta}{\cos \theta}} = \frac{\frac{ax}{\cos \theta}}{\frac{\cos \theta}{\sin \theta}} + \frac{\frac{by}{\sin \theta}}{\frac{\sin \theta}{\cos \theta}} \\ \text{(2) } \Rightarrow \text{①} \quad &= (a^2 - b^2) \sin \theta \cos \theta \quad (1) = \text{①} \end{aligned}$$

$$\therefore \frac{ax \sin \theta}{\cos^2 \theta} = (a^2 - b^2) \sin \theta \cos \theta$$

$$\cos^2 \theta = \frac{ax}{a^2 - b^2} \quad (\sin \theta \neq 0)$$

$$\text{同様} \quad \sin^2 \theta = \frac{-by}{a^2 - b^2}$$

$$\text{故} \quad \cos^2 \theta = \left( \frac{ax}{a^2 - b^2} \right)^{\frac{2}{3}} \quad \sin^2 \theta = \left( \frac{-by}{a^2 - b^2} \right)^{\frac{2}{3}}$$

$$\therefore 1 = \left( \frac{ax}{a^2 - b^2} \right)^{\frac{2}{3}} + \left( \frac{-by}{a^2 - b^2} \right)^{\frac{2}{3}}$$

$$\text{即ち} \quad (ax)^{\frac{2}{3}} + (by)^{\frac{2}{3}} = (a^2 - b^2)^{\frac{2}{3}}$$



これを△ル消去式ヲアナル.

## 練習問題

1. 2カノθヲ消去セヨ

$$\left. \begin{aligned} \text{(i)} \quad \sin \phi &= a \cos \theta + b \sin \theta \\ \cos \phi &= a \sin \theta - b \cos \theta \end{aligned} \right\} \begin{aligned} \text{(ii)} \quad \sin \theta (1 - \cos \theta) &= m \\ \cos \theta (1 - \sin \theta) &= n \end{aligned}$$

$$\text{(ii)} \quad (x - a \sin \theta)^2 + (y - a \cos \theta)^2 = (x \cos \theta - y \sin \theta)^2 = a^2$$

$$\left. \begin{aligned} \text{(v)} \quad a \sin \theta + b \cos \theta + c &= 0 \\ a' \sin \theta + b' \cos \theta + c' &= 0 \end{aligned} \right\} \begin{aligned} \text{(vi)} \quad a \sec^2 \theta + b \sec \theta + c &= 0 \\ a' \sec^2 \theta + b' \sec \theta + c' &= 0 \end{aligned}$$

$$\text{IE. } ab' - a'b \neq 0$$

$$\text{IE. } ab' - a'b \neq 0$$

## 第二章 加法定理及ビ之ニ關聯スル公式

### §1 射影

一平面上ニ直線 $l$ ト点 $P$ トアリ、 $P$ ヨリ $l$ ニ  
 ニケル垂線ノ足 $P'$ ヲ $l$ ノ上ニ投スル点 $P$ ノ正射  
 影トイフ  $P$ ガ $l$ ノ上ニアラハ $P$ 自身ヲ正射影  
 トス 又点 $P$ ノ代リニ線分 $PQ$ アルトキ 其兩  
 端ノ正射影ヲ兩端トスル線分 $P'Q'$ ヲ $l$ ノ上ニ投  
 スル線分 $P'Q'$ ノ正射影トイフ、

特ニ垂直ト限ラズ、其ヘラレタル方向ニ平射  
 ル射影ニ一般ニ斜射影ニ考ヘラレレ  
 ケレト以下用フルハ正射影ノミナルニ之ヲ  
 射影ト稱スヘシ

マソ線分ノ射影ノ大サヲ表ハス公式ヲ求ムル  
 タメニ直線ノ間ノ角ヲ新クニ定義スベシ

従テ、角ノ兩辺、 $x$ 軸、正ノ部分 $OX$ ニ一致セ  
 ン $x$ 、終邊ハ其ノ定ルル向キヲ正ト規約セリ、之

ヲ擴張シテ一般ニ角ノ兩辺ニ向キテ附シ其走レ  
ル向キヲ正トスベシ (今ヤ首辺ハ必ズシモ  
OX = 一致スルヲ要マズ)

此規約ニ從ヒニ直線(又ハ線分)ノ間ノ角ヲ  
次ノ如ク定義ス:

各直線ニ向キテ附シ一方ノ直  
線ヲ首線ト定メ、ニ直線ノ正ノ向  
キノ間ノ角(圖ノ矢ニテ示セル  
角)ヲ二直線ノ間ノ角ト定ム、此ノ角ヲ又首辺  
ト見ナセル直線ニ對スル他ノ直線ノ傾角トモイ  
フ



平行直線ニ同ジ向キテ附スレバニ直線ノ間ノ  
角ハ其ノ各ニ平行ナルニ直線ノ間ノ角ニ一ツツ  
ツ等シ

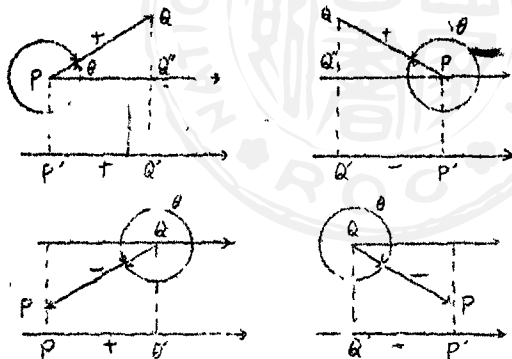
ニ直線ノ間ノ角ヲ此様ニ定ムレバ線分ノ射影  
ノ大サヲ求ムルニ足テノ場合ニ通用スル次ノ公  
式ヲ得 但シ線分  $PQ$  ノ射影ヲ  $P'Q'$  後ツテ

QP, 射影ヲ Q'P' = テ表ハスモノトス。

定理1. 線分 PQ, 直線  $\ell$  = 対スル傾角ヲ  $\theta$  ト  
 せば, PQ,  $\ell$  ノ上 = 投ズル射影 P'Q' ハ, PQ ノ正  
 負 = 拘ラズク, 式 = テ表ハサル:

$$P'Q' = PQ \cos \theta.$$

コレ = 依ッテ見レバ線分ト其射影トハ  $\theta$  ノ値  
 = ヲリ必ズシニ同符号ナラス, 實際次ノ圖 = 見  
 ルガ如ク,



證明. PQ が正ナラバ, コレ餘弦ノ定義ノ直接  
 ノ結果ナリ, 何ントナレバ, P ヲリ  $\ell$  = 平行線ヲ  
 引キ QQ' / 交点ヲ Q' / スレバ餘弦ノ定義ヨリ

$$PQ' = PQ \cos \theta$$

且ツ  $P'Q' = -PQ''$  ナレバナリ、

次 =  $PQ$  が負ナラバ正ナル  $QP =$  今証明シタル結果ヲ適用スルコトヲ得、但シ  $QP$  ノ  $\angle =$  対ナル傾角ハ、 $PQ$  ノ  $\angle =$  対スル傾角 = 同シ (頁49, 二直線ノ間ノ角ノ定義参照)。即チ

$$Q'P' = QP \cos \theta,$$

$$P'Q' = PQ \cos \theta \quad (\text{証明終})$$

次 = 二点  $P, Q$  ヲ連結スル屈折線  $PABCQ$  ノ各線分  $PA, AB, BC, CQ$  ヲ順次 = 有向直線  $\ell$  ノ上 = 射影スレバ次ノ定理 = ヲリ、

定理 有向直線上動点カヒキ續キ插キタル線分ヲ順次  $PA_1, A_1A_2, \dots, A_{n-1}Q$  ナスレバ

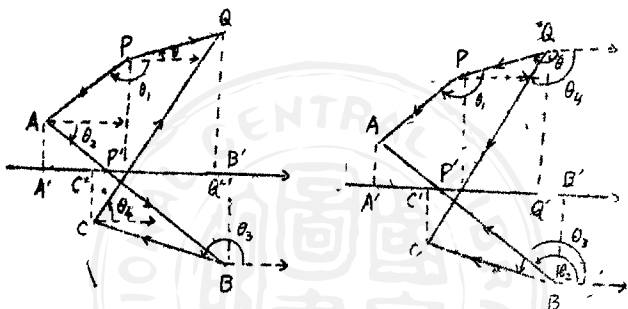
$$PA_1 + A_1A_2 + \dots + A_{n-1}Q = PQ$$

$$\therefore P'A' + A'B' + B'C' + C'Q' = P'Q'$$

各連結線分及ビ  $PQ =$  ソレソレ向キヲ附シ ( $AP, PA$  イワレヲ正トスルモ随意ナリ、他モ同

解.)  $Q$  点ニ對スル傾角ヲソレゾレ  $\theta_1, \theta_2, \theta_3, \theta_4$  及ビ  $\theta$  トセバ定理 1. = ヲリ上ノ式ハ又次ノ如クニ書き表ハサレル.

$$PA \cos \theta_1 + AB' \cos \theta_2 + BC \cos \theta_3 + CQ \cos \theta_4 = PQ \cos \theta$$



コレヲ一般ニシテ次ノ重要ナル定理ヲ得.

定理 2' 二点 P, Q ヲ連結スル屈折線 PA<sub>1</sub>, ---

A<sub>n-1</sub>Q / 各線分 PA<sub>1</sub>, A<sub>1</sub>A<sub>2</sub> ---, A<sub>n-1</sub>Q ヲ順次

= 有向直線  $l$  ノ上ニ射影スレバ

$$P'A_1 + A_1A_2 + \dots + A_{n-1}Q' = P'Q'$$

各線分ノ正ノ向キヲ隨意ニ定メ  $l$  ニ對スル傾角

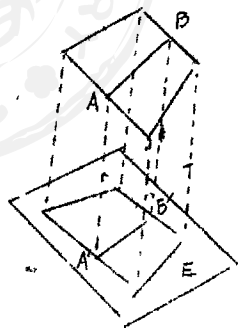
ヲソレゾレ  $\theta_1, \theta_2, \dots, \theta_n$  及ビ  $\theta$  トスレバ

$$PA_1 \cos \theta_1 + A_1A_2 \cos \theta_2 + \dots + A_{n-1}Q \cos \theta_n = PQ \cos \theta$$

(附註) 空間ニ於ケル点又ハ線分、直線又ハ平面上ニ投影スル射影ノ意義ハ、平面上ノ場合ヨリ、類推セラルベシ

空間ニ於ケルニ直線ノ間ノ角トハ、一点ヨリ各ニ平行ニ且同じ向キニ引ケルニ直線ノ間ノ角ニシテ直線ト平面上ノ間ノ角トハ直線ト平面上ニ投影スル其射影トノ間ノ角ナリト定義スレバ定理一ノハ線分又ハ平面上ニ射影スル場合ニモ成立シ、定理二ノ直線ノ空間ニアル場合ニモ成立ス。

次ニ一箇ノ主要ナル應用ヲ示サン 梯形ノ底辺カ平面上ニ平行ナラバ、 $E$ ノ上ニ投影スル射影ノ梯形ハ其ノ底辺長ニ等シク高さ  $A'B'$  ハ原梯形ノ高さ  $AB$  ノ射影ニシテ、



$$A'B' = AB \cos \theta,$$

依テ兩梯形ノ面積ヲ  $j, j'$  ノスレバ

$$J' = J \cos \theta,$$

茲 =  $\theta$  ハ AB ト E, ト F 間ノ角ナレドモ, AB ハ  
 梯形ノ面ト平面 E トノ交線 = 垂直ナルユヘ両平  
 面ノ間ノ角ナリトイフコトヲ得.

梯形ノ代リ, = 任意ノ平面多角形アルトキハ各  
 頂点ヲ通り平面 E = 平行ナル平面ニテ多角形ヲ  
 截リ, 之ヲ若干ノ三角形ト梯形トニ分テハ其各ニ  
 上ノ公式ガアテハマリ結局次ノ定理ヲ得.

定理. 面積  $J$  ナル平面多角形ノ平面上ニ投影スル射影ノ面積  $J'$  ハ

$$J' = J \cos \theta$$

但シ  $\theta$  ハ両平面ノ間ノ角ナリトス

### 練習問題

直六面体ノ対角線 OP, カ稜 OA, OB, OC ト  
 ナス角ヲリレリレ  $\alpha, \beta, \gamma$  トスレ  
 $\cos^2 \alpha + \cos^2 \beta + \cos^2 \gamma = 1$  ナルコトヲ証セヨ,



2, 互ニ直交スル三平面ニ投スル一面積 $J$ ナル  
空間平面形ノ射影ノ面積ヲソレソレ $J_1, J_2,$

$J_3$ トセバ  $J_1^2 + J_2^2 + J_3^2 = J^2$  ナルコトヲ証セヨ.

3 直角錐ノ底面積ヲ知リテ底面トノ傾角 $\theta$ ナル  
ル截面ノ面積ヲ求メヨ、依テ又平行截面ノ面  
積ハスベテ相等シキコトヲ示セ.

4. 円ヲ平面上ニ射影スレバ楕円トナリ平面ニ  
平行ナル直径及ビ之ニ直角ナル直径ノ射影ガ  
其楕円ノ兩軸ナリ、此事矣ヲ假定シテ兩軸ノ  
長サ $2a, 2b$ ナル楕円ノ面積ハ $\pi ab$ ナルコ  
トヲ示セ.

### § 14 正弦及ビ餘弦ノ加法定理及ビ減法定理

$\sin(\alpha + \beta)$  ハ  $\sin \alpha \cos \beta$  ナリトシ、又  $\cos(\alpha + \beta)$  ハ  
 $\cos \alpha \cos \beta$  ナリトシ、ソレモ代数的ニ表ハサルル  
モノナリ、即チ

$$\sin(\alpha + \beta) = \sin \alpha \cos \beta + \cos \alpha \sin \beta,$$

$$\cos(\alpha + \beta) = \cos\alpha \cos\beta - \sin\alpha \sin\beta$$

ユレヲソレゾレ正弦及ビ餘弦ノ加法定理

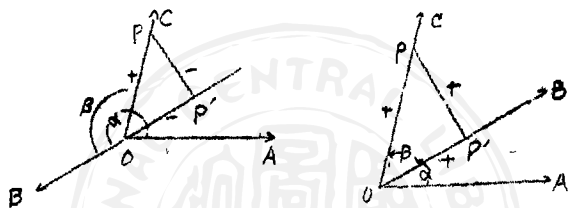
イフ 第一ノ式ハ  $\sin$  ノ他 =  $\cos$  ヲ含ミ第二  
式ハ  $\cos$  ノ他 =  $\sin$  ヲ含メドモ之上ニイフ事實  
= 抵觸セズ、何トナレバ  $\sin$ ,  $\cos$  ノ一なハ他ヲ  
以テ代数的ニ表ハシ得レバナリ 之ニ依リ以テ  
 $\alpha$ 、 $\beta$  ノ正弦ヲ知ラバ代数的ニ  $\alpha + \beta$  ノ正弦ガホ  
メラレ、餘弦 = 就イテモ同様ナリ

本定理ハ三角法ニ於ケル大多数ノ公式ノ根源  
トナルモノナレバ必ズ記憶スベキモノナリ

マソ  $\alpha$ 、 $\beta$  ヲ與ヘラレタル任意ノ角トシテ餘弦  
ノ加法定理ヲ証シ次ニソレヨリ正弦ノ場合ヲ論  
算スヘシ。

$\alpha$  ノ首辺ヲ  $OA$ 、終辺ヲ  $OB$  トス、母線カ  $OB$   
ノ位置ヨリ更ニ、 $OC$  造リ  $\angle C = \beta$  等シキカケ回轉スレ  
バ  $\angle AOC = \alpha + \beta$  生シタル角、 $\alpha + \beta = \angle AOC$  等シキ  $OA$  ハ其ノ  
首辺  $OC$  ハ其ノ終辺ナリ、

終邊  $OC$  上ノ一点  $P \ni$   $OB =$  垂線  $PP'$  ヲ對  
 キ線分  $OP, OP', PP' =$  従来ノ規約  $=$  従ヒ向キヲ  
 附スレバ  $OP$  ハ其向キ常ニ辺  $OC$  ノ向キト一致  
 スルニ正ナリ、 $OP'$  ハ其ノ向キガ辺  $OB$  ノ正



ノ向キト一致スレバ正ニ反スレバ負ナリ、 $PP'$   
 ノ有向直線  $OB =$  垂直ナルニ  $OB$  ヲ水平ニ其正  
 ノ向キヲ右手ニ置クトキ  $OB$  ヲ上ニ向ヘバ正、下  
 ニ向ヘバ負ナリ、

線分  $OP, OP', PP' =$  此様  $=$  向キヲ異ラレバ常ニ

$$\frac{OP'}{OP} = \cos \beta, \quad \frac{PP'}{OP} = \sin \beta$$

$$\text{従テ } OP = OP' \cos \beta, \quad PP' = OP' \sin \beta,$$

サテ射影ノ定理ニヨレバ  $OA$  ノ上ニ投ズル  $OP$

射影ハ  $OP', PP'$  ノ各射影ノ和ニ等シ之ヲ式ニテ

線  $OP$  と  $OA$  との傾角は  $\alpha + \beta$ 、

$OP'$  と  $OA$  との傾角は  $\alpha$ 、 $PP'$  と  $OB$  との傾角は  $\frac{\pi}{2}$ 、

$OA'$  と  $OA$  との傾角は  $\frac{\pi}{2} + \alpha$ 、

とあり、

$$\text{依り } OP \cos(\alpha + \beta) = OP' \cos \alpha + P'P \cos(\alpha + \frac{\pi}{2})$$

より  $OP$ 、 $OP'$ 、 $P'P$ 、を代入すれば

$$OP \cos(\alpha + \beta) = (OP \cos \beta) \cos \alpha + (OP \sin \beta) \cos(\alpha + \frac{\pi}{2}),$$

$$\text{即ち、 } OP \cos(\alpha + \beta) = OP \cos \alpha \cos \beta - OP \sin \alpha \sin \beta.$$

両辺より  $OP$  を割り、餘弦の加法定理より得

上の証明は  $\alpha$  の任意性より  $\alpha$  の代り  $=$

$$\frac{\pi}{2} + \alpha \quad \text{とすれば}$$

$$\cos(\frac{\pi}{2} + \alpha + \beta) = \cos(\frac{\pi}{2} + \alpha) \cos \beta - \sin(\frac{\pi}{2} + \alpha) \sin \beta,$$

$$\text{或は、 } -\sin(\alpha + \beta) = -\sin \alpha \cos \beta - \cos \alpha \sin \beta$$

両辺の符号を変じれば、即ち正弦の加法

定理より、

$\beta$  の任意性より  $\beta$  を  $-\beta$  と代り、

$$\cos(\alpha - \beta) = \cos \alpha \cos(-\beta) - \sin \alpha \sin(-\beta)$$

$$\text{及} \text{ ②} \quad \sin(\alpha - \beta) = \sin \alpha \cos(-\beta) + \cos \alpha \sin(-\beta)$$

$$\text{即} \text{ ④} \quad \cos(\alpha - \beta) = \cos \alpha \cos \beta + \sin \alpha \sin \beta$$

$$\text{及} \text{ ③} \quad \sin(\alpha - \beta) = \sin \alpha \cos \beta - \cos \alpha \sin \beta$$

以上、四個、公式ヲマトメテ整理スルハ

$$\left. \begin{aligned} -\sin(\alpha + \beta) &= \sin \alpha \cos \beta + \cos \alpha \sin \beta \\ \cos(\alpha + \beta) &= \cos \alpha \cos \beta - \sin \alpha \sin \beta \end{aligned} \right\} \text{(A)}$$

$$\left. \begin{aligned} \sin(\alpha - \beta) &= \sin \alpha \cos \beta - \cos \alpha \sin \beta \\ \cos(\alpha - \beta) &= \cos \alpha \cos \beta + \sin \alpha \sin \beta \end{aligned} \right\} \text{(B)}$$

(B)ヲ減法定理トイフコトモアリ

### §15. 正切及餘切ノ加法定理及減法定理

正切及餘切ノ加法定理ハ正弦及餘弦ノ場

合ヨリ容易ニ誘導セラレ即チ

$$\frac{\sin(\alpha + \beta)}{\cos(\alpha + \beta)} = \frac{\sin \alpha \cos \beta + \cos \alpha \sin \beta}{\cos \alpha \cos \beta - \sin \alpha \sin \beta}$$

$$\text{及} \text{ ②} \quad \frac{\cos(\alpha + \beta)}{\sin(\alpha + \beta)} = \frac{\cos \alpha \cos \beta - \sin \alpha \sin \beta}{\sin \alpha \cos \beta + \cos \alpha \sin \beta}$$

以上兩式ノ右辺ノ分母分子ヲ第一ノ式ハ

$\cos \alpha \cos \beta = \gamma$ . 第二ノ式ハ  $\sin \alpha \sin \beta = \gamma$  利用

$$\left\{ \begin{array}{l} \tan(\alpha + \beta) = \frac{\tan \alpha + \tan \beta}{1 - \tan \alpha \tan \beta} \end{array} \right. \quad (1)$$

$$\left\{ \begin{array}{l} \cot(\alpha + \beta) = \frac{\cot \alpha \cot \beta - 1}{\cot \alpha + \cot \beta} \end{array} \right. \quad (2)$$

(1) 及 (2) = 於テ  $\beta \neq -\beta$  = 置テ換ヘ、

$\tan(-\beta) = -\tan \beta$ ,  $\cot(-\beta) = -\cot \beta$  = 注意シ

テ次式ヲ得、

$$\left\{ \begin{array}{l} \tan(\alpha - \beta) = \frac{\tan \alpha - \tan \beta}{1 + \tan \alpha \tan \beta} \end{array} \right. \quad (3)$$

$$\left\{ \begin{array}{l} \cot(\alpha - \beta) = \frac{\cot \beta \cot \alpha + 1}{\cot \beta - \cot \alpha} \end{array} \right. \quad (4)$$

(例題) 1  $15^\circ, 75^\circ$ ノ三角函数ノ値ヲ求ム。

(解)  $\sin 15^\circ = \sin(45^\circ - 30^\circ) = \sin 45^\circ \cos 30^\circ - \cos 45^\circ \sin 30^\circ$

$$= \frac{1}{\sqrt{2}} \times \frac{\sqrt{3}}{2} - \frac{1}{\sqrt{2}} \times \frac{1}{2}$$

$$\therefore \sin 15^\circ = \frac{\sqrt{6} - \sqrt{2}}{4} = \cos 75^\circ$$

$$\cos 15^\circ = \cos(45^\circ - 30^\circ) = \frac{\sqrt{6} + \sqrt{2}}{4} = \sin 75^\circ$$

$$\tan 15^\circ = \tan(-5^\circ - 30^\circ) = 2 - \sqrt{3} = \cot 75^\circ$$

$$\cot 15^\circ = \frac{1}{2 - \sqrt{3}} = 2 + \sqrt{3} = \tan 75^\circ$$

$$\sec 15^\circ = \frac{4}{\sqrt{6} + \sqrt{2}} = \sqrt{6} - \sqrt{2} = \operatorname{cosec} 75^\circ$$

$$\operatorname{cosec} 15^\circ = \frac{4}{\sqrt{6} - \sqrt{2}} = \sqrt{6} + \sqrt{2} = \sec 75^\circ$$

(例題) 2  $\sin \alpha = \frac{4}{5}$ ,  $\cos \beta = -\frac{8}{17}$  7 英  $\wedge$  7

$\sin(\alpha + \beta)$ ,  $\cos(\alpha + \beta)$  及  $\sin(\alpha - \beta)$ ,  $\cos(\alpha - \beta)$

ノ 値ヲ 求ム。

(解)  $\alpha$  ハ 第一又ハ 第二象限ノ 角  $\beta$  ハ 第二又ハ 第三象限ノ 角ヲ  $\cos \alpha = \pm \frac{3}{5}$ ,  $\sin \beta = \pm \frac{15}{17}$  7 "P  
ル。

(i)  $\alpha$  カ I,  $\beta$  カ II 7 "P 場合

$$\sin(\alpha + \beta) = \left(\frac{4}{5}\right) \times \left(-\frac{8}{17}\right) + \left(\frac{3}{5}\right) \times \left(\frac{15}{17}\right) = \frac{13}{85}$$

$$\cos(\alpha + \beta) = \left(\frac{3}{5}\right) \times \left(-\frac{8}{17}\right) - \left(\frac{4}{5}\right) \times \left(\frac{15}{17}\right) = -\frac{84}{85}$$

$$\sin(\alpha - \beta) = -\frac{77}{85}, \quad \cos(\alpha - \beta) = \frac{36}{85}$$

(ii)  $\alpha$  カ I,  $\beta$  カ III 7 "P 場合; (iii)  $\alpha$  カ II,  $\beta$   
カ II 7 "P 場合 (iv)  $\alpha$  カ II,  $\beta$  カ III 7 "P 場  
合ハ 如何。

## 練習問題

1.  $\cos A = \frac{40}{41}$ ,  $\cos B = \frac{60}{61}$  7° フイルトキ  $\tan(A+B)$

$\tan(A-B)$  ノ 値ヲ 求ム

2.  $\tan 195^\circ \sin 105^\circ + \cos 165^\circ \cot 165^\circ + \tan 135^\circ \sin 90^\circ$   
ノ 値ヲ 求ム,

3. 次ノ 恒等式ヲ 証明セヨ.

(i)  $\sin \theta + \cos \theta = \sqrt{2} \sin(\theta + \frac{\pi}{4}) = \sqrt{2} \cos(\theta - \frac{\pi}{4})$

(ii)  $\sin \theta - \cos \theta = \sqrt{2} \sin(\theta - \frac{\pi}{4}) = -\sqrt{2} \cos(\theta + \frac{\pi}{4})$

(iii)  $\frac{\tan A - \tan B}{\tan A + \tan B} = \frac{\sin(A-B)}{\sin(A+B)}$

(iv)  $\frac{\cot A - \cot B}{\cot A + \cot B} = -\frac{\sin(A-B)}{\sin(A+B)}$

4.  $\tan B = \frac{2 \sin A \sin C}{\sin(A+C)}$  7° フイルトキハ  $\tan A$ ,

$\tan B$ ,  $\tan C$  ノ 調和級数ヲ ナラコトヲ 証明セヨ.

### §16 重要十種ノ 公式

$$\sin(\alpha + \beta) \sin(\alpha - \beta) = \sin^2 \alpha \cos^2 \beta - \cos^2 \alpha \sin^2 \beta$$

$$= \sin^2 \alpha (1 - \sin^2 \beta) - (1 - \sin^2 \alpha) \sin^2 \beta$$

$$\therefore \sin(\alpha + \beta) \sin(\alpha - \beta) = \sin^2 \alpha - \sin^2 \beta = \cos^2 \beta - \cos^2 \alpha$$



可換 =

$$\cos(\alpha+\beta)\cos(\alpha-\beta) = \cos^2\alpha - \sin^2\beta = \cos^2\beta - \sin^2\alpha \quad (I)$$

$$\sin(\alpha+\beta)\cos(\alpha-\beta) = \sin\alpha\cos\alpha + \sin\beta\cos\beta$$

$$\cos(\alpha+\beta)\sin(\alpha-\beta) = \sin\alpha\cos\alpha - \sin\beta\cos\beta$$

$$\times \frac{\cos(\alpha+\beta)}{\cos(\alpha-\beta)} = \frac{1 - \tan\alpha\tan\beta}{1 + \tan\alpha\tan\beta} \quad (II)$$

$$\therefore \frac{\sin(\alpha \pm \beta)}{\cos\alpha\cos\beta} = \tan\alpha \pm \tan\beta \quad (\text{視符号同調})$$

又 = 第 14 節ノ公式 (A) 及ビ (B) ヲ加ヘ或ハ減ス

レコトカヲ

$$2\sin\alpha\cos\beta = \sin(\alpha+\beta) + \sin(\alpha-\beta)$$

$$2\cos\alpha\sin\beta = \sin(\alpha+\beta) - \sin(\alpha-\beta)$$

$$2\cos\alpha\cos\beta = \cos(\alpha+\beta) + \cos(\alpha-\beta)$$

$$2\sin\alpha\sin\beta = \cos(\alpha-\beta) - \cos(\alpha+\beta)$$

(III)

式ヲ  $\alpha+\beta = \theta$ ,  $\alpha-\beta = \phi$  ノコトカヲ

$$\sin\theta + \sin\phi = 2\sin\frac{1}{2}(\theta+\phi)\cos\frac{1}{2}(\theta-\phi)$$

$$\sin\theta - \sin\phi = 2\cos\frac{1}{2}(\theta+\phi)\sin\frac{1}{2}(\theta-\phi)$$

$$\cos\theta + \cos\phi = 2\cos\frac{1}{2}(\theta+\phi)\cos\frac{1}{2}(\theta-\phi)$$

(IV)

-64-

$$\cos \phi - \cos \theta = 2 \sin \frac{1}{2}(\theta + \phi) \sin \frac{1}{2}(\theta - \phi)$$

この公式(III)、(IV)は最も重要な公式で(III)は正  
弦、餘弦、積ヲ其和又ハ差ニ、(IV)ハ和又ハ差ヲ積  
ニ改メル公式ナルヲ又(IV)ヲ三次、公式ヲ誘  
導サレル。

$$\left. \begin{aligned} \frac{\sin \theta + \sin \phi}{\sin \theta - \sin \phi} &= \frac{\tan \frac{1}{2}(\theta + \phi)}{\tan \frac{1}{2}(\theta - \phi)} \\ \frac{\sin \theta \pm \sin \phi}{\cos \theta + \cos \phi} &= \tan \frac{1}{2}(\theta \pm \phi) \text{ (積符号同順)} \\ \frac{\sin \theta \pm \sin \phi}{\cos \theta - \cos \phi} &= \cot \frac{1}{2}(\theta \mp \phi) \text{ (積符号同順)} \\ \frac{-\cos \theta + \cos \phi}{\cos \phi - \cos \theta} &= \cot \frac{1}{2}(\theta + \phi) \cot \frac{1}{2}(\theta - \phi) \end{aligned} \right\} \text{(V)}$$

(例題) 1.  $\tan \frac{A}{2} - \tan \frac{A}{3} - \tan \frac{A}{6} = \tan \frac{A}{2} \tan \frac{A}{3} \tan \frac{A}{6}$

ヲ証明セヨ。

(解)  $\frac{A}{2} = \frac{A}{3} + \frac{A}{6}$  ナルヲ以テ

$$\tan \frac{A}{2} = \tan \left( \frac{A}{3} + \frac{A}{6} \right) = \frac{\tan \frac{A}{3} + \tan \frac{A}{6}}{1 - \tan \frac{A}{3} \tan \frac{A}{6}}$$

$$\therefore \tan \frac{A}{2} (1 - \tan \frac{A}{3} \tan \frac{A}{6}) = \tan \frac{A}{3} + \tan \frac{A}{6}$$

$$\text{即 4. } \tan \frac{A}{2} - \tan \frac{A}{3} - \tan \frac{A}{6} = \tan \frac{A}{2} \tan \frac{A}{3} \tan \frac{A}{6}$$

(例題) 2 次式 / 値ヲ計算セヨ

$$\sin 52^\circ \frac{1}{2} - \sin 37^\circ \frac{1}{2} \left( \cos 22^\circ \frac{1}{2} + \cos 7^\circ \frac{1}{2} \right)$$

$$\begin{aligned} \text{解) } \sin 52^\circ \frac{1}{2} - \sin 37^\circ \frac{1}{2} &= 2 \cos \frac{1}{2} (52^\circ \frac{1}{2} + 37^\circ \frac{1}{2}) \\ &\times \sin \frac{1}{2} (52^\circ \frac{1}{2} - 37^\circ \frac{1}{2}) = 2 \cos 45^\circ \sin \frac{15^\circ}{2} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \cos 22^\circ \frac{1}{2} + \cos 7^\circ \frac{1}{2} &= 2 \cos \frac{1}{2} (22^\circ \frac{1}{2} + 7^\circ \frac{1}{2}) \\ &\times \cos \frac{1}{2} (22^\circ \frac{1}{2} - 7^\circ \frac{1}{2}) = 2 \cos 15^\circ \cos \frac{15^\circ}{2} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \therefore \text{求値式} &= 2 \cos 45^\circ \cos 15^\circ \times 2 \sin \frac{15^\circ}{2} \cos \frac{15^\circ}{2} \\ &= 2 \cos 45^\circ \sin 15^\circ \cos 15^\circ \\ &= \cos 45^\circ \times 2 \sin 15^\circ \cos 15^\circ \\ &= \cos 45^\circ \sin 30^\circ \\ &= \frac{1}{\sqrt{2}} \times \frac{1}{2} \\ &= \frac{\sqrt{2}}{4} \end{aligned} \quad \text{答 } \underline{\underline{\frac{\sqrt{2}}{4}}}$$

## 練習問題

$$\begin{aligned} 1. \quad &1 - \cos^2 A - \cos^2 B - \cos^2 C - 2 \cos A \cos B \cos C \\ &= -4 \cos \frac{A+B+C}{2} \cos \frac{-A+B+C}{2} \cos \frac{A-B+C}{2} \cos \frac{A+B-C}{2} \end{aligned}$$

ナルコトヲ証明セヨ

$$\begin{aligned}
2. \quad & \sin A \sin(B-C) \sin(B+C-A) \\
& + \sin B \sin(C-A) \sin(C+A-B) \\
& + \sin C \sin(A-B) \sin(A+B-C) \\
& = 2 \sin(C-A) \sin(C-A) \sin(A-B)
\end{aligned}$$

ナルコトヲ証明セヨ.

3.  $A + B + C = \pi$  ナルトキ.

$$\cos^2 A + \cos^2 B + \cos^2 C + 2 \cos A \cos B \cos C = 1$$

が成立スルコトヲ証明セヨ

4.  $\frac{\sin(\theta + 45^\circ) \sin(\theta - 45^\circ)}{\sin^2 \theta - \cos^2 \theta}$  ヲ簡單ニセヨ.

## §17 倍角ノ三角函数

正弦及ビ餘弦ノ加法定理ニ於テ  $\beta = \alpha$  トシ

$$\begin{cases}
\sin 2\alpha = 2 \sin \alpha \cos \alpha & (1) \\
\cos 2\alpha = \cos^2 \alpha - \sin^2 \alpha & (2) \\
= 1 - 2 \sin^2 \alpha = 2 \cos^2 \alpha - 1 & (3)
\end{cases}$$

(3)ノ又次ノ形式ニテ用フルコト多シ:

$$\sin^2 \alpha = \frac{1 - \cos 2\alpha}{2}, \quad \cos^2 \alpha = \frac{1 + \cos 2\alpha}{2}$$

(1), (2), (3) /  $\alpha$  / 代り =  $\frac{\alpha}{2}$  トオケバ

$$\sin \alpha = 2 \sin \frac{\alpha}{2} \cos \frac{\alpha}{2} \quad (11)$$

$$\cos \alpha = \cos^2 \frac{\alpha}{2} - \sin^2 \frac{\alpha}{2} \quad (12)$$

$$= 1 - 2 \sin^2 \frac{\alpha}{2} = 2 \cos^2 \frac{\alpha}{2} - 1 \quad (13)$$

此 = 上記 (11), (12) フマシ

$$\sin 2\alpha = \frac{2 \sin \alpha \cos \alpha}{\cos^2 \alpha + \sin^2 \alpha}, \quad \cos 2\alpha = \frac{\cos^2 \alpha - \sin^2 \alpha}{\cos^2 \alpha + \sin^2 \alpha}$$

形 = 高キ分母分子ヲソレソレ  $\cos^2 \alpha = 1 - \sin^2 \alpha$  フ割レ

$$\left\{ \begin{array}{l} \sin 2\alpha = \frac{2 \tan \alpha}{1 + \tan^2 \alpha} \end{array} \right. \quad (4)$$

$$\left\{ \begin{array}{l} \cos 2\alpha = \frac{1 - \tan^2 \alpha}{1 + \tan^2 \alpha} \end{array} \right. \quad (5)$$

マタ正切尺 = 餘切 / 加法定理 = 於テ  $\rho = \alpha$  ト

オケハ

$$\left\{ \begin{array}{l} \tan 2\alpha = \frac{2 \tan \alpha}{1 - \tan^2 \alpha} \end{array} \right. \quad (6)$$

$$\left\{ \begin{array}{l} \cot 2\alpha = \frac{\cot \alpha - 1}{2 \cot \alpha} \end{array} \right. \quad (7)$$

上記 (4), (5), (6) /  $\alpha$  / 代り =  $\frac{\alpha}{2}$  トスレバ

-64-

$$\left\{ \begin{aligned} \sin \alpha &= \frac{2 \tan \frac{\alpha}{2}}{1 + \tan^2 \frac{\alpha}{2}} & (4) \\ \cos \alpha &= \frac{1 - \tan^2 \frac{\alpha}{2}}{1 + \tan^2 \frac{\alpha}{2}} & (5) \\ \tan \alpha &= \frac{2 \tan \frac{\alpha}{2}}{1 - \tan^2 \frac{\alpha}{2}} & (6) \end{aligned} \right.$$

更に上記(1), (3) を用いて

$$\begin{aligned} \sin(\alpha + 2\alpha) &= \sin \alpha \cos 2\alpha + \cos \alpha \sin 2\alpha \\ &= \sin \alpha (1 - 2\sin^2 \alpha) + 2\sin \alpha (1 - \sin^2 \alpha) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \cos(\alpha + 2\alpha) &= \cos \alpha \cos 2\alpha - \sin \alpha \sin 2\alpha \\ &= \cos \alpha (2\cos^2 \alpha - 1) - 2\cos \alpha (1 - \cos^2 \alpha) \end{aligned}$$

即ち、

$$\begin{cases} \sin 3\alpha = 3\sin \alpha - 4\sin^3 \alpha & (8) \\ \cos 3\alpha = 4\cos^3 \alpha - 3\cos \alpha & (9) \end{cases}$$

(例題) 1.  $\sin 3A \sin^3 A + \cos 3A \cos^3 A = \cos^2 2A + 1$  となることを証明せよ。

↑ を証明せよ。

(解) 左式 =  $(3\sin A - 4\sin^3 A)\sin^3 A + (4\cos^3 A - 3\cos A)\cos^3 A$

$$= 3(\sin^4 A - \cos^4 A) - 4(\sin^4 A - \cos^4 A)$$

$$\begin{aligned}
 &= (\sin^2 A - \cos^2 A) \{3 - 4(\sin^2 A + \sin^2 A \cos^2 A + \cos^2 A)\} \\
 &= -\cos 2A \{3 - 4(1 - \sin^2 A \cos^2 A)\} \\
 &= -\cos 2A \{-1 + \sin^2 2A\} = \cos 2A \cos^2 2A \\
 &= \cos^3 2A = \text{右式}
 \end{aligned}$$

### 練習問題

1.  $\frac{\cos 3A}{\cos A} - \frac{\cos 6A}{\cos 2A} + \frac{\cos 9A}{\cos 3A} - \frac{\cos 12A}{\cos 6A}$   
 $= -(\cos 2A - \cos 4A + \cos 6A - \cos 12A)$  ヲ証セヨ

2.  $\tan \theta = \frac{\sin \alpha \sin \theta}{\cos \theta - \cos \alpha}$  77 ヲトクハ  
 $\tan \theta = \frac{\sin \alpha \sin \theta}{\cos \theta - \cos \alpha}$  77 ヲトクヲ証明セヨ.

3. 次ノ恒等式ヲ証明セヨ.

(I)  $\frac{1 + \sin 2A}{\sin A + \cos A} = \sqrt{2} \sin(A + 45^\circ)$

(II)  $\tan(30^\circ + A) \cdot \tan(30^\circ - A) = \frac{2\cos 2A - 1}{2\cos 2A + 1}$

§ 18  $18^\circ, 36^\circ, 54^\circ, 72^\circ$  ノ三角函数

今  $\alpha = 18^\circ$  トスルニ  $5\alpha = 90^\circ \therefore 2\alpha = 90^\circ - 3\alpha$

従って

$$\sin 2\alpha = \cos 3\alpha$$

即ち  $2\sin\alpha\cos\alpha = 4\cos^3\alpha - 3\cos\alpha$

$$\therefore 4\cos^2\alpha - 2\sin\alpha - 3 = 0 \quad (\cos\alpha \neq 0 \text{ かつ } \neq \pi)$$

即ち  $4\sin^2\alpha + 2\sin\alpha - 1 = 0$

$$\therefore \sin\alpha = \frac{-1 \pm \sqrt{5}}{4} \quad (\sin\alpha > 0 \text{ かつ } \neq \pi)$$

$$\therefore \sin 18^\circ = \frac{\sqrt{5}-1}{4} = \cos 72^\circ$$

$$\text{又 } \cos 18^\circ = \sqrt{1 - \sin^2 18^\circ} = \frac{1}{4} \sqrt{10 + 2\sqrt{5}} = \sin 72^\circ$$

従って  $\tan 18^\circ = \frac{1 - \frac{2}{5}\sqrt{5}}{1} = \cot 72^\circ$

$$\cot 18^\circ = \sqrt{5 + 2\sqrt{5}} = \tan 72^\circ$$

$$\text{又 } \sin 36^\circ = 2\sin 18^\circ\cos 18^\circ = \frac{1}{4} \sqrt{10 - 2\sqrt{5}} = \cos 54^\circ$$

従って  $\cos 36^\circ = \frac{1}{4}(\sqrt{5}+1) = \sin 54^\circ$

$$\tan 36^\circ = \sqrt{5 - 2\sqrt{5}} = \cot 54^\circ,$$

$$\cot 36^\circ = \sqrt{1 + \frac{2}{5}\sqrt{5}} = \tan 54^\circ$$

§ 19  $\cos A$  を知って  $\frac{1}{2}A$  の三角函数を求めよ

倍角の公式系 2 = 於て  $\alpha = \frac{A}{2}$  とせば

$$\sin \frac{A}{2} = \pm \sqrt{\frac{1}{2}(1 - \cos A)}, \quad \cos \frac{A}{2} = \sqrt{\frac{1}{2}(1 + \cos A)}$$



$$\tan \frac{A}{2} = \pm \sqrt{\frac{1 - \cos A}{1 + \cos A}}$$

得ル。コノ公式ヲ角  $A$  ノ大サモ異ヘラレタ場

合ハ  $\sin \frac{A}{2}$ ,  $\cos \frac{A}{2}$ ,  $\tan \frac{A}{2}$  ノ符号ハ唯一ツニ決

定ケレル 然レ角  $A$  ガ異ヘラレズンテ  $\cos A$

値ノミ異ヘラレタトキハ コレ等ノ符号ハ確定

スルコトヲ得スンテ何レモ正、負ニツノ値ヲ有ス

ル。而シテ正弦餘弦ノ符号ハ任意ニ組合セテヨ

イカ、正切ハ  $\sin \frac{A}{2} / \cos \frac{A}{2} =$  ヲツテ符号ヲ定ムハ

キモ、テアル 故ニ  $\sin \frac{A}{2}$ ,  $\cos \frac{A}{2}$ ,  $\tan \frac{A}{2}$  ノ値

ハ合セテ四組ノ解答ヲ得ル

(例題) 1.  $22.5^\circ$ ,  $67.5^\circ$  ノ三角函数ノ値ヲ求ム。

$$\text{解} \quad \cos 45^\circ = \frac{1}{\sqrt{2}} \quad \text{テアル 故ニ}$$

$$\sin 22.5^\circ = \sqrt{\frac{1 - \frac{1}{\sqrt{2}}}{2}} = \frac{1}{2} \sqrt{2 - \sqrt{2}} = \cos 67.5^\circ$$

$$\cos 22.5^\circ = \sqrt{\frac{1 + \frac{1}{\sqrt{2}}}{2}} = \frac{1}{2} \sqrt{2 + \sqrt{2}} = \sin 67.5^\circ$$

$$\tan 22.5^\circ = \frac{\sqrt{1 - \frac{1}{\sqrt{2}}}}{\sqrt{1 + \frac{1}{\sqrt{2}}}} = \sqrt{2} - 1 = \cot 67.5^\circ$$

$$\cot 22.5^\circ = \frac{1}{\sqrt{2} - 1} = \sqrt{2} + 1 = \tan 67.5^\circ$$

(例題) 2.  $\cos A = \frac{1}{2}$  かつ  $A$  は鋭角,  $\sin \frac{A}{2}$ ,  $\cos \frac{A}{2}$ ,

$\tan \frac{A}{2}$  の値を求めよ.

(解) 公式から,

$$\sin \frac{A}{2} = \pm \frac{1}{2}, \quad \cos \frac{A}{2} = \pm \frac{\sqrt{3}}{2}, \quad \tan \frac{A}{2} = \pm \frac{1}{\sqrt{3}}$$

仍て求める値は次の四組である.

$$\left. \begin{array}{l} \sin \frac{A}{2} = \frac{1}{2} \\ \cos \frac{A}{2} = \frac{\sqrt{3}}{2} \\ \tan \frac{A}{2} = \frac{1}{\sqrt{3}} \end{array} \right\} \left. \begin{array}{l} \sin \frac{A}{2} = \frac{1}{2} \\ \cos \frac{A}{2} = -\frac{\sqrt{3}}{2} \\ \tan \frac{A}{2} = -\frac{1}{\sqrt{3}} \end{array} \right\} \left. \begin{array}{l} \sin \frac{A}{2} = -\frac{1}{2} \\ \cos \frac{A}{2} = \frac{\sqrt{3}}{2} \\ \tan \frac{A}{2} = -\frac{1}{\sqrt{3}} \end{array} \right\} \left. \begin{array}{l} \sin \frac{A}{2} = -\frac{1}{2} \\ \cos \frac{A}{2} = -\frac{\sqrt{3}}{2} \\ \tan \frac{A}{2} = \frac{1}{\sqrt{3}} \end{array} \right\}$$

§20  $\sin A$  が知られて  $\frac{1}{2}A$  の三角函数を求めよ.

$$1 + \sin A = \left( \sin \frac{A}{2} + \cos \frac{A}{2} \right)^2, \quad 1 - \sin A = \left( \sin \frac{A}{2} - \cos \frac{A}{2} \right)^2$$

$$\therefore \sin \frac{A}{2} + \cos \frac{A}{2} = \pm \sqrt{1 + \sin A}$$

$$\therefore \sin \frac{A}{2} - \cos \frac{A}{2} = \pm \sqrt{1 - \sin A} \quad (i)$$

$$\therefore \sin \frac{A}{2} = \frac{1}{2} \{ \pm \sqrt{1 + \sin A} \pm \sqrt{1 - \sin A} \}$$

$$\cos \frac{A}{2} = \frac{1}{2} \{ \pm \sqrt{1 + \sin A} \mp \sqrt{1 - \sin A} \}$$

従って

$$\tan \frac{A}{2} = \frac{\pm \sqrt{1 + \sin A} \pm \sqrt{1 - \sin A}}{\pm \sqrt{1 + \sin A} \mp \sqrt{1 - \sin A}} = \frac{1 \pm \sqrt{1 - \sin^2 A}}{\sin A}$$

この公式で角  $A$  の大きさを異ハシレタ場合ハ

即ち  $\sin \frac{A}{2}$ ,  $\cos \frac{A}{2}$ ,  $\tan \frac{A}{2}$  の符号ハ唯一ツコ定メル

コトヲ出果ル 即チ

$$\sin \frac{A}{2} + \cos \frac{A}{2} = \sqrt{2} \sin \left( \frac{A}{2} + \frac{\pi}{4} \right)$$

$$\sin \frac{A}{2} - \cos \frac{A}{2} = \sqrt{2} \sin \left( \frac{A}{2} - \frac{\pi}{4} \right)$$

即チレバ  $\frac{A}{2} + \frac{\pi}{4}$ ,  $\frac{A}{2} - \frac{\pi}{4}$  の大きサ = ヨソチ

ニ式ノ符号 従って (1) = ヨリ  $\sqrt{1 + \sin A}$ ,  $\sqrt{1 - \sin A}$

ノ符号ハ定マル 故ニ

$$\sin \frac{A}{2}, \cos \frac{A}{2}, \tan \frac{A}{2}$$

ノ値ニ確定スルコトヲ出果ル

即チ  $A$  が異ハシレヌニ  $-\sin A$  値が異ハシ  
レタトキハコレ等ノ符号ハ決定スルコトヲ得ナ  
イテ一般ニ四組ノ値ヲ得ル

(例題)  $\sin A = \frac{4}{5}$  ノ知リテ  $\sin \frac{A}{2}$ ,  $\cos \frac{A}{2}$ ,

$\tan \frac{A}{2}$  の値を求めよ。

$$\text{(解)} \quad \sin \frac{A}{2} = \frac{1}{2} \left\{ \pm \sqrt{1 + \frac{4}{5}} \pm \sqrt{1 - \frac{4}{5}} \right\}$$

$$\therefore \sin \frac{A}{2} = \frac{2}{\sqrt{5}} \text{ 又 } \frac{1}{\sqrt{5}} \text{ 又 } -\frac{1}{\sqrt{5}} \text{ 又 } -\frac{2}{\sqrt{5}}$$

$$\text{又} \quad \cos \frac{A}{2} = \frac{1}{2} \left\{ \pm \sqrt{1 + \frac{4}{5}} \mp \sqrt{1 - \frac{4}{5}} \right\}$$

$$\therefore \cos \frac{A}{2} = \frac{1}{\sqrt{5}} \text{ 又 } \frac{2}{\sqrt{5}} \text{ 又 } -\frac{2}{\sqrt{5}} \text{ 又 } -\frac{1}{\sqrt{5}}$$

$$\tan \frac{A}{2} = \frac{1 \pm \sqrt{1 - \frac{16}{25}}}{\frac{4}{5}} = 2 \text{ 又 } \frac{1}{2}$$

而して  $\sin \frac{A}{2}$ ,  $\cos \frac{A}{2}$  の値は複符号を同順にして

つぎ組合せ、 $\tan \frac{A}{2}$  の値は  $\sin \frac{A}{2} / \cos \frac{A}{2} = 2$  又は

$\frac{1}{2}$  である。仍て次に四組の値を得よ

$$\left. \begin{array}{l} \sin \frac{A}{2} = \frac{2}{\sqrt{5}} \\ \cos \frac{A}{2} = \frac{1}{\sqrt{5}} \\ \tan \frac{A}{2} = 2 \end{array} \right\} \left. \begin{array}{l} \sin \frac{A}{2} = \frac{1}{\sqrt{5}} \\ \cos \frac{A}{2} = \frac{2}{\sqrt{5}} \\ \tan \frac{A}{2} = \frac{1}{2} \end{array} \right\} \left. \begin{array}{l} \sin \frac{A}{2} = -\frac{1}{\sqrt{5}} \\ \cos \frac{A}{2} = -\frac{2}{\sqrt{5}} \\ \tan \frac{A}{2} = \frac{1}{2} \end{array} \right\} \left. \begin{array}{l} \sin \frac{A}{2} = -\frac{2}{\sqrt{5}} \\ \cos \frac{A}{2} = -\frac{1}{\sqrt{5}} \\ \tan \frac{A}{2} = 2 \end{array} \right\}$$

もし  $\sin A = \frac{4}{5}$  を満足する角の一つが  $48^\circ 52'$ 、

よすれば  $\frac{A}{2} = 24^\circ 26'$  となり  $\frac{A}{2} + 45^\circ = 28^\circ 26'$ 、

$\frac{A}{2} - 45^\circ = 19^\circ 26'$  となり 故に

$$\sin \frac{A}{2} = \frac{1}{2} \left\{ \sqrt{1 + \frac{4}{5}} - \sqrt{1 - \frac{4}{5}} \right\} = -\frac{2}{\sqrt{5}}$$

$$\cos \frac{A}{2} = \frac{1}{2} \left\{ -\sqrt{1 + \frac{4}{5}} + \sqrt{1 - \frac{4}{5}} \right\} = -\frac{1}{\sqrt{5}}$$

$$\sin \frac{A}{2} = 2$$

(例題) 2  $2 \sin A = \sqrt{1 + \sin 2A} - \sqrt{1 - \sin 2A}$  ナル等式が成立スルトキ、角  $A$  ノ存在スル範圍ヲ決定セヨ、

解 與ヘシル等式ヲ  $\sqrt{1 + \sin 2A}$  ハ正テアルカラ  $\sin(A + \frac{\pi}{4})$  ハ正テ、 $-\sqrt{1 - \sin 2A}$  ハ負テアルカラ  $-\sin(A - \frac{\pi}{4})$  ハ負テアル 故ニ  $A + \frac{\pi}{4}$  ハ第一乃至第二象限内ノ角テ、 $A - \frac{\pi}{4}$  ハ第三乃至第四象限内ノ角テアラネハナラヌ。

$$\therefore (2n+1)\pi > A + \frac{\pi}{4} > 2n\pi$$

$$\text{即チ } 2n\pi + \frac{3\pi}{4} > A > 2n\pi - \frac{\pi}{4} \quad (1)$$

$$\text{又 } 2n\pi > A - \frac{\pi}{4} > (2n-1)\pi$$

$$\text{即チ } 2n + \frac{\pi}{4} > A > 2n\pi - \frac{3\pi}{4} \quad (2)$$

トナル。而シテコノ (1)(2) ヲ同時ニ成立セシメル

$A$  ハ結局

$$2n\pi + \frac{\pi}{4} > A > 2n\pi - \frac{\pi}{4}$$

ブナケレバナラヌ。コレヲ求ムルAノ範圍ヲ示ス

§21  $\tan A$ ヲ知ツテ $\frac{1}{2}A$ ノ三角函数ヲ求ムルコト

$$\tan A = \frac{2 \tan \frac{A}{2}}{1 - \tan^2 \frac{A}{2}} \quad \text{ヨリ} \quad \tan \frac{A}{2} = \frac{-1 \pm \sqrt{1 + \tan^2 A}}{\tan A}$$

$$\text{又} \quad \sin \frac{A}{2} = \pm \frac{\tan \frac{A}{2}}{\sqrt{1 + \tan^2 \frac{A}{2}}}, \quad \cos \frac{A}{2} = \pm \frac{1}{\sqrt{1 + \tan^2 \frac{A}{2}}}$$

コノ公式ヲ角Aノ共ハラレタトキハ $\tan \frac{A}{2}$ ノ値ハ唯一ツニ定メラレル。モシAノ共ハラレズニ $\tan A$ ノ値ガ共ハラレタトキハ $\tan \frac{A}{2}$ ノ値ハ二ツ求マリ、從フテ $\sin \frac{A}{2}$ 、 $\cos \frac{A}{2}$ 、 $\tan \frac{A}{2}$ ノ値ハ合マテ四組求メ得ラレル

(例題)  $\tan A = \frac{1}{\sqrt{3}}$ ヲ共ハテ $\sin \frac{A}{2}$ 、 $\cos \frac{A}{2}$ 、 $\tan \frac{A}{2}$ ノ値ヲ求ム。

(解)  $\tan \frac{A}{2}$ ノ値ヲ求ム。

$$\text{(解)} \quad \tan \frac{A}{2} = \frac{-1 \pm \sqrt{1 + \frac{1}{3}}}{\frac{1}{\sqrt{3}}} = -\sqrt{3} \pm 1$$

$$\sin \frac{A}{2} = \pm \frac{-\sqrt{3} \pm \sqrt{3}}{4}, \quad \cos \frac{A}{2} = \pm \frac{\sqrt{3} \pm \sqrt{2}}{4}$$

故に

$$\left. \begin{aligned} \tan \frac{A}{2} &= -\sqrt{3} + 2 \\ \sin \frac{A}{2} &= \frac{\sqrt{6} - \sqrt{2}}{4} \\ \cos \frac{A}{2} &= \frac{\sqrt{6} + \sqrt{2}}{4} \end{aligned} \right\}$$

$$\left. \begin{aligned} \tan \frac{A}{2} &= -\sqrt{3} + 2 \\ \sin \frac{A}{2} &= -\frac{\sqrt{6} - \sqrt{2}}{4} \\ \cos \frac{A}{2} &= -\frac{\sqrt{6} + \sqrt{2}}{4} \end{aligned} \right\}$$

$$\left. \begin{aligned} \tan \frac{A}{2} &= -\sqrt{3} - 2 \\ \sin \frac{A}{2} &= -\frac{\sqrt{6} + \sqrt{2}}{4} \\ \cos \frac{A}{2} &= \frac{\sqrt{6} - \sqrt{2}}{4} \end{aligned} \right\}$$

$$\left. \begin{aligned} \tan \frac{A}{2} &= -\sqrt{3} - 2 \\ \sin \frac{A}{2} &= \frac{\sqrt{6} + \sqrt{2}}{4} \\ \cos \frac{A}{2} &= -\frac{\sqrt{6} - \sqrt{2}}{4} \end{aligned} \right\}$$

又  $\angle A = 69^\circ$  とすれば  $\frac{A}{2} = 34.5^\circ$  である

$$\begin{aligned} \text{故に} \quad \tan \frac{A}{2} &= -\sqrt{3} - \sqrt{2}, \quad \sin \frac{A}{2} = -\frac{\sqrt{6} + \sqrt{2}}{4} \\ \cos \frac{A}{2} &= \frac{\sqrt{6} - \sqrt{2}}{4} \end{aligned}$$

### § 21 三角函数ノ項ヨリ成ル級数ノ和

$$\text{公式} \quad 2\cos\alpha \sin\beta = \sin(\alpha+\beta) - \sin(\alpha-\beta)$$

ヲ利用シテ角ガ等差級数ヲナス餘弦ノ級数ノ和  
ノ公式ヲ求メ、ソレヨリ、同ジク正弦ノ級数ノ和ノ  
公式ヲ導キ出スコトヲ得、

即チ、

-28-

$$2 \cos(\alpha + k\beta) \sin \frac{\beta}{2} = \sin\left(\alpha + \frac{2k+1}{2}\beta\right) - \sin\left(\alpha + \frac{2k-1}{2}\beta\right)$$

= 於て順次  $k=0, 1, 2, \dots, n-1$  置きて得た  
 此  $n$  個ノ式ヲ逐々相加ムルニ

$$\begin{aligned} & 2\{\cos\alpha + \cos(\alpha + \beta) + \dots + \cos(\alpha + (n-1)\beta)\} \sin \frac{\beta}{2} \\ &= \sin\left(\alpha + \frac{2n-1}{2}\beta\right) - \sin\left(\alpha - \frac{\beta}{2}\right) \\ &= 2 \cos\left(\alpha + \frac{n-1}{2}\beta\right) \sin \frac{n}{2}\beta \end{aligned}$$

$$\text{故} = \sin \frac{\beta}{2} \neq 0 \text{ 上ノ如キハ}$$

$$\begin{aligned} & \cos\alpha + \cos(\alpha + \beta) + \dots + \cos(\alpha + (n-1)\beta) \\ &= \frac{\cos\left(\alpha + \frac{n-1}{2}\beta\right) \sin \frac{n}{2}\beta}{\sin \frac{\beta}{2}} \end{aligned} \quad (1)$$

上記(1) = 於て  $\alpha$  代り  $= \frac{\pi}{2} + \alpha$  置きて後、

両辺ノ符号ヲ変スルハ

$$\begin{aligned} & \sin\alpha + \sin(\alpha + \beta) + \dots + \sin(\alpha + (n-1)\beta) \\ &= \frac{\sin\left(\alpha + \frac{n-1}{2}\beta\right) \sin \frac{n}{2}\beta}{\sin \frac{\beta}{2}} \end{aligned} \quad (2)$$

特ニ(1) 及 (2) = 於て  $\beta = \alpha$  上ノ如キハ

$$\cos\alpha + \cos 2\alpha + \dots + \cos n\alpha = \frac{\sin \frac{n}{2} \alpha \cos \frac{n+1}{2} \alpha}{\sin \frac{\alpha}{2}} \quad (3)$$



$$\sin \alpha + \sin 2\alpha + \dots + \sin n\alpha = \frac{\sin \frac{n}{2} \alpha \sin \frac{n+1}{2} \alpha}{\sin \frac{\alpha}{2}} \quad (4)$$

級数、各項が同名、函数、差 = 分る、場合  
 = ハ (1)ヲ求メタルト類似、方法 = ヨリ其ノ級数  
 迄ヲ求メ得ルヲトアリ、

例ハバ

$$S = \operatorname{cosec} \alpha + \operatorname{cosec} 2\alpha + \dots + \operatorname{cosec} 2^{n-1} \alpha$$

ヲ求ムルニ

$$\operatorname{cosec} \alpha = \cot \frac{\alpha}{2} - \cot \alpha$$

ヲ知ルニキ、此ノヲ順次  $2\alpha, 2^2\alpha, \dots, 2^{n-1}\alpha$

ニテ置キテ

$$\operatorname{cosec} 2\alpha = \cot \alpha - \cot 2\alpha$$

$$\operatorname{cosec} 2^2\alpha = \cot 2\alpha - \cot 2^2\alpha$$

-----

-----

$$\operatorname{cosec} 2^{n-1}\alpha = \cot 2^{n-2}\alpha - \cot 2^{n-1}\alpha$$

以上  $n$  個ノ式ヲ辺々相加ヘテ

$$S = \cos \frac{\rho}{2} - \cos 2^{n-1} \alpha$$

(附言) 公式 (ii) の幾何学的証明法へ次、如し:

単位円ノ周上ニ等間隔ニ順次、点  $A_0, A_1, \dots, A_n$  ヲ作り相隣レルニ点間ノ弧ニ対スル中心角ヲスベテ  $\alpha$  ニ等シクス。但シ  $\alpha$  ノ正負ニヨリ点ノ排列ノ順序、左回り又ハ右回リトス。

直線  $A_0 X$  ヲヒキ之ニ対スル弦  $A_0 A_1$  ノ傾角ヲ以テラシム、

$A_0 X$  ノ上ニ投スル屈折線  $A_0 A_1 \dots A_n$  ノ射影ハ弦  $A_0 A_n$  ノ射影ニ等シ、然レニ弦  $A_0 A_1, A_1 A_2, \dots$

$A_{n-1} A_n$  ノ長サハス、テ  $2 \sin \frac{\rho}{2}$  ニ等シク、

$A_0 X$  ニ対スル傾角ハリレリレ  $\alpha, \alpha + \beta, \dots, \alpha + (n-1)\beta$  ナリ、又弦  $A_0 A_n$  ノ長サハ  $2 \sin \frac{\pi \rho}{2}$  ニ等シク、 $A_0 X$  ニ対スル傾角、 $\alpha + \frac{\pi-1}{2} \beta$  ナリ

故ニ

$$\begin{aligned} & 2 \sin \frac{\rho}{2} (\cos \alpha + \cos(\alpha + \beta) + \dots + \cos(\alpha + (n-1)\beta)), \\ & = 2 \sin \frac{\rho}{2} \cos\left(\alpha + \frac{\pi-1}{2} \beta\right). \quad (\text{証明終}) \end{aligned}$$

## 練習問題

1. 級数、 $n$ 項、和ヲ求ル。又、 $1 \sim 3$

1 (1)  $\cos \alpha + \cos 3\alpha + \cos 5\alpha + \dots$

(2)  $\sin \alpha + \sin 3\alpha + \sin 5\alpha + \dots$

2 (1)  $\sin \theta \cos \theta + \sin 2\theta \cos 2\theta + \sin 3\theta \cos 3\theta + \dots$

(2)  $\sin \theta \sin 3\theta + \sin 2\theta \sin 6\theta + \sin 4\theta \sin 12\theta + \dots$

3  $\cos^2 \alpha + \cos^2(\alpha + \beta) + \cos^2(\alpha + 2\beta) + \dots$

又此結果ヨリ  $\cos$ 、代リ  $= \sin$  トシ、 $n$ 項ノ結果ヲ導キ出セ。

4 公式(1)(2)ニ於テ  $\beta$ 、代リ  $= \pi + \beta$  トシ、 $n$ 項ノ級数、和、公式ヲ依レ

(1)  $\cos \alpha - \cos(\alpha + \beta) + \cos(\alpha + 2\beta) - \dots + (-1)^n \cos(\alpha + \pi - \beta)$

(2)  $\sin \alpha - \sin(\alpha + \beta) + \sin(\alpha + 2\beta) - \dots + (-1)^n \sin(\alpha + \pi - \beta)$

5.  $\tan \theta = \cot \theta - 2\cot 2\theta$  ヲ用ヒテ、 $n$ 項ノ級数、和ヲ求ル。又、

(1)  $\tan \theta + 2 \tan 2\theta + 2^2 \tan 2^2 \theta + \dots$

(2)  $\tan \theta + \frac{1}{2} \tan \frac{\theta}{2} + \tan \frac{\theta}{2^2} + \dots$

-82-

6 円周ノ  $n$  等分点ヲ  $A_1, A_2, \dots, A_n$  トセハ半  
徑  $OA_1, OA_2, \dots, OA_n$  ノ任意ノ一直徑上ニ投  
ズル射影ノ和ハ  $O$  ナルコトヲ証セヨ、



## 第三章 逆三角函数

## §23 逆三角函数

$\sin \theta = a$  ナルトキハ角  $\theta$  ヲ名ツケテ  $a$  ノ逆正弦

トイヒ、コレヲ  $\sin^{-1} a$  又ハ  $\text{arc sin } a$  ナル表ハス、

従ツテ  $\sin \theta = a$  ト  $\theta = \sin^{-1} a$  トハ全く同一ノ

事實ヲ表ハス、同様ニ、

$$\cos \theta = a \text{ ナルトキハ } \theta = \cos^{-1} a \text{ 又ハ } \theta = \text{arc cos } a$$

$$\tan \theta = a \text{ ナルトキハ } \theta = \tan^{-1} a \text{ 又ハ } \theta = \text{arc tan } a$$

$$\cot \theta = a \text{ ナルトキハ } \theta = \cot^{-1} a \text{ 又ハ } \theta = \text{arc cot } a$$

$$\sec \theta = a \text{ ナルトキハ } \theta = \sec^{-1} a \text{ 又ハ } \theta = \text{arc sec } a$$

$$\text{cosec } \theta = a \text{ ナルトキハ } \theta = \text{cosec}^{-1} a \text{ 又ハ } \theta = \text{arc cosec } a$$

ヲ表ハシ、此等ヲ夫々  $a$  ノ逆餘弦、逆正切、逆餘切、

逆正割、逆餘割 トイニ總稱シテ  $a$  ノ逆三角函数

トイフ

次ニ  $\sin \theta = a$  ナルトキ、 $\theta$  ヲ與ヘルト  $a$  ノ値ハ

唯一ノ一定ナルモ逆ニ  $a$  ヲ與ヘタトキニハ、 $\theta$  即

チ  $\sin^{-1} a$  ノ値ハ函数ニ求メラレル例ヘハ

$$\sin^{-1} \frac{1}{2} \text{ ヲ考ヘルニ } = \sin^{-1} \frac{1}{2} = \theta \text{ トオケバ}$$

$\sin \theta = \frac{1}{2}$  デアールカ放 =  $\theta = 2\pi + (-1)^n \frac{\pi}{6}$  ヨリ特、  
 ルハ總テ求メル角デアール。  $\cos^{-1} a, \tan^{-1} a$  等 =  
 ツイテモ同様デアール。

コノヤウ =  $\sin \theta, \cos \theta, \tan \theta$  等ハ  $\theta$  ノ値ヲ  
 異ヘルト唯一ツノ値ガ定メラレルカ放 =  $\sin^{-1}$  カル  
 函数ヲ單値函数トイヒコレ = 反シ  $\sin^{-1} a, \cos^{-1} a$   
 $\tan^{-1} a$  等、如キ函数ハ  $a$  ノ一ツノ値 =  $x$  (無  
 数 = 多) ノ値ガ求メラレルカカル函数、 $\sin^{-1} a$   
 多値函数トイフ

$$\begin{aligned}
 \text{今 } -\frac{\pi}{2} \leq \sin^{-1} a \leq \frac{\pi}{2}, & \quad -\frac{\pi}{2} \leq \operatorname{cosec}^{-1} a \leq \frac{\pi}{2} \\
 0 \leq \cos^{-1} a \leq \pi, & \quad 0 \leq \sec^{-1} a \leq \pi \\
 -\frac{\pi}{2} \leq \tan^{-1} a \leq \frac{\pi}{2}, & \quad -\frac{\pi}{2} \leq \cot^{-1} a \leq \frac{\pi}{2}
 \end{aligned}$$

ナル制限ヲ設ケルト  $a$  ヲ異ヘルバ  $\sin^{-1} a, \cos^{-1} a$   
 等ノ値ニ亦一ツ = 定メルコトガ出束ル 而レテ  
 コノ制限内ノ値ヲ夫々  $\sin^{-1} a, \cos^{-1} a$  等ノ主値ト  
 稱ハル 逆三角函数、主値以外ノ値ヲ表ハスコ  
 トハ是ヨリ得テ、仍テ以後  $\sin^{-1} a, \cos^{-1} a$  等、

主値ノミヲ表ハスモノト定メル。カク規約ヲ設ケルト逆三角函数モ亦單值函数トシテ取扱フコトガ出来ル。

例ハバ

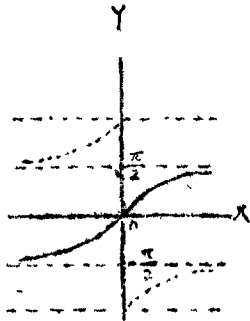
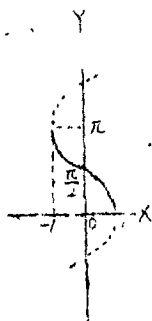
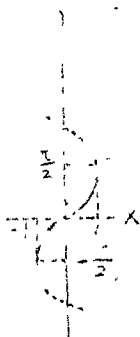
$$\left. \begin{aligned} \sin^{-1}\left(\frac{\sqrt{3}}{2}\right) &= \frac{\pi}{3}, \quad \sin^{-1}(-1) = -\frac{\pi}{2}, \quad \cos^{-1}\left(-\frac{1}{2}\right) = \frac{2\pi}{3} \\ \cos^{-1}(\quad) &= \pi, \quad \tan^{-1}(-1) = -\frac{\pi}{4}, \quad \sec^{-1}(\sqrt{2}) = \frac{\pi}{4} \end{aligned} \right\} \text{主値}$$

注意コ  $\sin^{-1}a$ ,  $\cos^{-1}a$ ,  $\tan^{-1}a$  , 等ノ亦ヲ置ケバ次ノ通りヲ得ル。但實線ハ主値ヲ表ハス曲線ノ分枝ノ点器ハ三値以外ヲ表ハス曲線ノ分枝ヲアル。

$$\sin^{-1}a, \quad \begin{matrix} \text{〇〇〇} \\ \text{〇〇〇} \end{matrix}$$

$$\cos^{-1}a, \quad \begin{matrix} \text{〇〇〇} \\ \text{〇〇〇} \end{matrix}$$

$$\tan^{-1}a, \quad \begin{matrix} \text{〇〇〇} \\ \text{〇〇〇} \end{matrix}$$



注意 II 逆三角函数ノ定義カラ、次ノ事ハ明

シテアル。

$$\sin(\sin^{-1}a) = a, \quad \cos(\cos^{-1}a) = a, \quad \tan(\tan^{-1}a) = a$$

$$\sin^{-1}(\sin\theta) = \theta, \quad \cos^{-1}(\cos\theta) = \theta, \quad \tan^{-1}(\tan\theta) = \theta$$

### §24. 逆三角函数相互ノ關係

三角函数及ヒ逆三角函数ノ定義ニヨツテ或、三角函数ヲ他ノ逆三角函数ヲ表ハスコトカ出ニ

(例題)  $\sin^{-1}x$  ヲ他ノ逆三角函数ヲ表ハセ

但シ  $0 \leq x \leq 1$

(解)  $\sin^{-1}x = \theta$  トテケバ  $\sin\theta = x$  ナル

シテ  $0 \leq x \leq 1$  ナルカ故ニ  $0 \leq \theta \leq \frac{\pi}{2}$  ナリ

$$\text{例テ} \quad \cos\theta = \sqrt{1-x^2} \quad \therefore \theta = \cos^{-1}\sqrt{1-x^2}$$

$$\tan\theta = \frac{x}{\sqrt{1-x^2}} \quad \therefore \theta = \tan^{-1}\frac{x}{\sqrt{1-x^2}}$$

$$\text{同様ニ} \quad \cot\theta = \frac{\sqrt{1-x^2}}{x}, \quad \sec\theta = \frac{1}{\sqrt{1-x^2}},$$

$$\operatorname{cosec}\theta = \frac{1}{x} \quad \text{ナリテ}$$

$$\therefore \sin^{-1}x = \cos^{-1}\sqrt{1-x^2} = \tan^{-1}\frac{x}{\sqrt{1-x^2}} = \cot^{-1}\frac{\sqrt{1-x^2}}{x}$$



$$= \sec^{-1} \frac{1}{\sqrt{1-x^2}} = \operatorname{cosec}^{-1} \frac{1}{x}$$

## 練習問題

1. 次の関係式ヲ証明セヨ

$$(i) \cos^{-1} x = \sin^{-1} \sqrt{1-x^2} = \tan^{-1} \frac{\sqrt{1-x^2}}{x} = \cot^{-1} \frac{x}{\sqrt{1-x^2}}$$

$$= \sec^{-1} \frac{1}{x} = \operatorname{cosec}^{-1} \frac{1}{\sqrt{1-x^2}} \quad \text{但 } 0 \leq x \leq 1$$

$$(ii) \tan^{-1} x = \sin^{-1} \frac{x}{\sqrt{1+x^2}} = \cos^{-1} \frac{1}{\sqrt{1+x^2}} = \cot^{-1} \frac{1}{x}$$

$$= \sec^{-1} \sqrt{1+x^2} = \operatorname{cosec}^{-1} \frac{\sqrt{1+x^2}}{x} \quad \text{但 } x \geq 0$$

2.  $\sin^{-1} x + \cos^{-1} x = \frac{\pi}{2}$  ナルコトヲ証明セヨ 但

$$|x| < 1,$$

$$\sin^{-1} \frac{4}{5} + \sin^{-1} \frac{5}{13} + \sin^{-1} \frac{16}{65} = \frac{\pi}{2} \quad \text{ナルコトヲ}$$

証明セヨ. 但角ハ總テ正ノ銳角ヲ表ハスモノ

1 スル

## 第四章 三角形の辺と角との関係 及 其應用

### § 25 正弦法則, 餘弦法則 正切法則

#### (1) 正弦法則

頂点 A より ひげル高サ

ヲ  $h$  ト ス レバ

$$\frac{h}{c} = \sin B \quad \frac{h}{b} = \sin C$$

$$\frac{h}{\sin B} = \frac{h}{\sin C}$$

文字ヲ交換シテ又  $\frac{a}{\sin A} = \frac{c}{\sin C}$  ヲ行ケキコト

明カナリ、即チ次ノ公式ヲ得タリ

$$\frac{a}{\sin A} = \frac{b}{\sin B} = \frac{c}{\sin C} \quad (1)$$

コレヲ正弦法則トイフ。

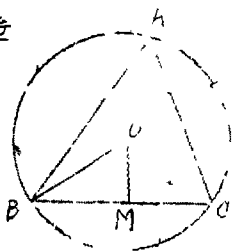
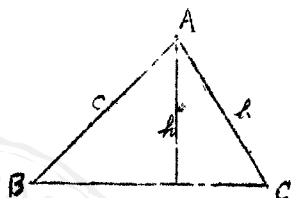
此公式ハ又次ノ如クシテ證セラル

三角形ノ外心 O より 辺 BC = 垂

線 OM ヲヒケバ

$$BC = 2OB \sin BOM,$$

即チ  $a = 2R \sin A$



但し  $R$  は外接円の半径を表はす、

文字ヲ交換シテ又次ノ式ヲ得、

$$b = 2R \sin B \quad c = 2R \sin C$$

$$\frac{a}{\sin A} = \frac{b}{\sin B} = \frac{c}{\sin C} = 2R \quad (1)'$$

(2) 餘弦法則

辺  $BC$  上ニ投影スル  $BA, AC$  ノ射影ノ和ハ  $BC$

ニ

$$c \cos B + b \cos C = a$$

又  $c, b$  交換シテ結局ノ公式ヲ得

$$\begin{cases} c \cos B + b \cos C = a \\ c \cos C + c \cos A = b \\ b \cos A + a \cos B = c \end{cases} \quad (2)$$

コレヲ第一餘弦法則トイフ、

コレヲ  $\cos A, \cos B, \cos C$  ニ就テ解テバ

$$\begin{cases} \cos A = \frac{b^2 + c^2 - a^2}{2bc} \\ \cos B = \frac{c^2 + a^2 - b^2}{2ca} \\ \cos C = \frac{a^2 + b^2 - c^2}{2ab} \end{cases} \quad (3)$$

或ハコレヲ書き換ヘテ

$$\begin{cases} a^2 = b^2 + c^2 - 2bc \cos A \\ b^2 = c^2 + a^2 - 2ca \cos B \\ c^2 = a^2 + b^2 - 2ab \cos C \end{cases} \quad (3')$$

コレヲ第二餘弦法則トイフ

(3) 正切法則

正弦法則 = ヲリ

$$\begin{aligned} \frac{a-b}{a+b} &= \frac{\sin A - \sin B}{\sin A + \sin B} \\ &= \frac{2 \sin \frac{A-B}{2} \cos \frac{A+B}{2}}{2 \sin \frac{A+B}{2} \cos \frac{A-B}{2}} = \frac{\tan \frac{A-B}{2}}{\tan \frac{A+B}{2}} \end{aligned}$$

文字ヲ交換ノテ同様ナル式ヲホニ個ヲ得 即チ

$$\begin{cases} \frac{a-b}{a+b} = \frac{\tan \frac{A-B}{2}}{\tan \frac{A+B}{2}} \\ \frac{b-c}{b+c} = \frac{\tan \frac{B-C}{2}}{\tan \frac{B+C}{2}} \\ \frac{c-a}{c+a} = \frac{\tan \frac{C-A}{2}}{\tan \frac{C+A}{2}} \end{cases} \quad (4)$$

正弦法則 トイフ

練習問題

1.  $\triangle ABC$  中  $\frac{a^2 - b^2}{c^2} = \frac{\sin(A-B)}{\sin C}$  ナルコトヲ

証ス。

2.  $\triangle ABC$  中  $\frac{a - c \cos B}{b - c \cos A} = \frac{b}{a}$  ナルコトヲ証

ス。

3.  $\angle C = 10^\circ$ ,  $B = 45^\circ$ ,  $c = 60$  ナル三角形ノ他ノ  
二辺ノ長サヲ求ム。

4.  $A = 60^\circ$ ,  $B = 45^\circ$  ナル三角形ノ三辺ノ比ヲ求  
ム。

5. 三辺ガ  $m$ ,  $n$ ,  $\sqrt{m^2 - mn + n^2}$  ナルトキ  $A, B,$   
 $C$  ノ中、大ナルニ番目ニ當ル角ノ大ナル如何ニ  
モ  $m \neq n$  トスル

6. 三辺ガ  $m^2 + m + 1$ ,  $m^2 - 1$ ,  $2m + 1$  ナルトキ最  
大角ヲ求ム。

§26 辺ノ項ニテ表ハセル半角ノ三角函数

前節ノ公式(3)'ニ於テ  $\cos A$ ヲ  $\sin \frac{A}{2}$  又ハ  $\cos \frac{A}{2}$ ニテ表ハシヨク次ノ式ヲ得、

$$a^2 = b^2 + c^2 - 2bc + 4bc \sin^2 \frac{A}{2},$$

$$a^2 = b^2 + c^2 + 2bc - 4bc \cos^2 \frac{A}{2}.$$

コレヨリ

$$4bc \sin^2 \frac{A}{2} = a^2 - (b-c)^2 = (a-b+c)(a+b-c)$$

$$\text{及ビ} \quad 4bc \cos^2 \frac{A}{2} = (b+c)^2 - a^2 = (a+b+c)(-a+b+c)$$

三角形ノ半周ヲ  $S$ ニテ表ハセバ

$$a+b+c = 2S,$$

$$-a+b+c = 2(S-a), \quad a-b+c = 2(S-b), \quad a+b-c = 2(S-c)$$

トナルコトハ

$$bc \sin^2 \frac{A}{2} = (S-b)(S-c), \quad bc \cos^2 \frac{A}{2} = S(S-a)$$

$\sin \frac{A}{2}$  及ビ  $\cos \frac{A}{2}$ ノ常ニ正ナルコトニ注意シ

$$\sin \frac{A}{2} = \sqrt{\frac{(S-b)(S-c)}{bc}}, \quad \cos \frac{A}{2} = \sqrt{\frac{S(S-a)}{bc}}$$

文字ヲ交換シ  $\frac{B}{2}$ ,  $\frac{C}{2}$ ニ於テモ同様ノ式ヲ

得 即 乎

$$\begin{cases} \sin \frac{A}{2} = \sqrt{\frac{(s-b)(s-c)}{bc}} \\ \sin \frac{B}{2} = \sqrt{\frac{(s-c)(s-a)}{ca}} \\ \sin \frac{C}{2} = \sqrt{\frac{(s-a)(s-b)}{ab}} \end{cases} \quad (1)$$

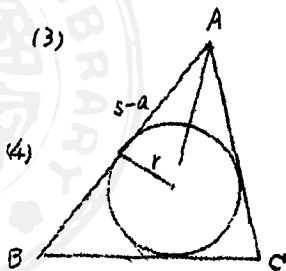
$$\begin{cases} \cos \frac{A}{2} = \sqrt{\frac{s(s-a)}{bc}} \\ \cos \frac{B}{2} = \sqrt{\frac{s(s-b)}{ca}} \\ \cos \frac{C}{2} = \sqrt{\frac{s(s-c)}{ab}} \end{cases} \quad (2)$$

(1) 及 (2) 相乘得

$$\begin{cases} \tan \frac{A}{2} = \sqrt{\frac{(s-b)(s-c)}{s(s-a)}} \\ \tan \frac{B}{2} = \sqrt{\frac{(s-c)(s-a)}{s(s-b)}} \\ \tan \frac{C}{2} = \sqrt{\frac{(s-a)(s-b)}{s(s-c)}} \end{cases} \quad (3)$$

或、

$$\begin{cases} \tan \frac{A}{2} = \frac{r}{s-a} \\ \tan \frac{B}{2} = \frac{r}{s-b} \\ \tan \frac{C}{2} = \frac{r}{s-c} \end{cases} \quad (4)$$



但由  $r = \sqrt{\frac{(s-a)(s-b)(s-c)}{s}}$

### 練習問題

$\triangle ABC$  中於下列各等式可證明也

(i)  $a \cos^2 \frac{C}{2} + c \cos^2 \frac{A}{2} = s$

(ii)  $(s-a) \tan \frac{A}{2} = (s-b) \tan \frac{B}{2} = (s-c) \tan \frac{C}{2}$

$$(ii) \frac{a+b}{a+b+c} = \frac{1}{2} \left( 1 + \tan \frac{A}{2} \tan \frac{B}{2} \right)$$

$$(iv) b c \cos^2 \frac{A}{2} + a c \cos^2 \frac{B}{2} + a b \cos^2 \frac{C}{2} = s^2$$

$$2 \quad a \sin^2 \frac{C}{2} + c \sin^2 \frac{A}{2} = \frac{a}{2} + \text{ルトキハ } a, b, c \text{ ハ等}$$

差級数ヲナスコトヲ証明セヨ。

### § 27 三角形ノ面積ヲ表ハス公式

三角形ノ面積  $S$  ヲ表ハス公式ハ甚ク多ク  
中、代表的ト思ハルモノ幾ツクヲ掲ゲン

(1) 二辺ト其夾角トヲ知レル場合

例ヘバ  $b, c$   $A$  ヲ知レルトス、 $c$  ヲ底辺、 $h$  ヲコ  
レニ対スル高サトセハ

$$S = \frac{1}{2} ch \quad \text{及ヒ} \quad h = b \sin A$$

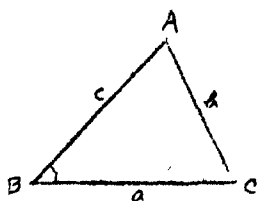
$$S = \frac{1}{2} bc \sin A \quad (1)$$

文字ヲ交換シテ同様ナル式ナホ二個ヲ得

(2) 二角ト其夾辺トヲ知レル場合

例ヘバ  $B, C$ ,  $a$  ヲ知レルトス 此場合ニハ  $A$  ヲ  
モ知ルコトヲ得 然ルトキハ正弦法則ヨリ





$$b = a \frac{\sin B}{\sin A}$$

∴  $b$  の式ヲ前條ニ得ル

$$S = \frac{1}{2} ab \sin C$$

= 代入スレバ

$$S = \frac{a^2 \sin B \sin C}{2 \sin A} \left( = \frac{b^2 \sin C \sin A}{2 \sin B} = \frac{c^2 \sin A \sin B}{2 \sin C} \right)$$

文字ヲ交換シテ同様ナル式ナホ二個ヲ得

(3) 三辺ヲ知レル場合.

$$\text{公式(1)ヲ} \quad S = bc \sin \frac{A}{2} \cos \frac{A}{2}$$

↑ 高キ換ヘコレ = 前節(1) 及 (2)ノ第一式ヲ代入スレバ

$$S = \sqrt{s(s-a)(s-b)(s-c)} \quad (3)$$

$$\text{但シ} \quad 2s = a + b + c$$

此ヨク知ラレタル公式ハ既ニ紀元前約125年ノ昔ガリシヤノ人ヘラシ (Heron)ノ特見マルモノナリトイフ。

4) 其他ノ場合

§25ノ正弦法則(1)'ヨリ得タル、

$$\sin A = \frac{a}{2R} \quad \text{又ハ} \quad b = 2R \sin B \quad c = 2R \sin C$$

7.上ノ(1)ニ代入シテソレソレ次式ヲ得、

$$S = \frac{abc}{4R} \quad (4)$$

$$S = 2R^2 \sin A \sin B \sin C \quad (5)$$

即チ外接円ノ半径ト三辺又ハ三角ノ正弦トニ  
テ面積ヲ表ハシ得タリ、

次ニ内切円ノ半径ヲ $r$ 傍切円ノ半径ヲ $r_1, r_2, r_3$   
トスレバ

$$2S = ar + br + cr = 2rs$$

$$2S = br_1 + cr_1 - ar_1 = 2r_1(s-a)$$

ナルコト幾何学的ニ容易ニ証セラル 即チ

$$S = rs \quad (6)$$

$$S = r_1(s-a) \quad (7)$$

文字ヲ交換シ $r_2, r_3$ ニ代シテモ同様ノ式ヲ得  
コレ内切円又ハ傍切円ノ半径ト三辺トヲ以テ  
面積ヲ表ハスモノナリ、

## 練習問題

1 三角形ノ面積ヲ表ハス次 公式ヲ証セヨ、

$$(1) S = (s-a) \tan \frac{A}{2},$$

$$(2) S = (s-a)^2 \tan \frac{A}{2} \cot \frac{B}{2} \cot \frac{C}{2}$$

$$(3) S = \frac{1}{4} (a^2 \sin 2B + b^2 \sin 2A)$$

$$4. S = \frac{1}{4} (a^2 \cot A + b^2 \cot B + c^2 \cot C)$$

$$(5) S = Rr (\sin A + \sin B + \sin C)$$

角三角形ノ斜辺カ  $c$  ナルトキ  $S = s(s-c)$

ルコトヲ示セ

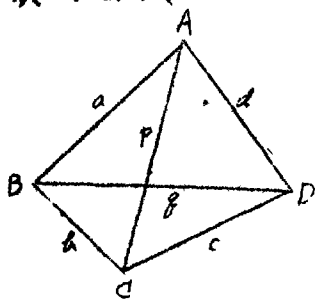
3 底辺  $a$  頂角  $A$  ナル二等辺三角形ノ面積ノ公式ヲ作レ

4 必ズト他ノ二辺ノ和トカ一定ナル三角形  
中ニ等辺ナルモノカ面積最大ナルコトヲ証セヨ  
(公式(3)應用)

5 三角形ノ面積ト其内切円ノ面積トノ比ハ各  
ノ内ノ比ニ等シキコトヲ証セヨ (公式(6)應用)

## § 28 四辺形ノ面積ヲ表ス公式

四辺形 ABCD, 辺

ヲ  $a, b, c, d$ ; 角ヲ  $A,$  $B, C, D$ ; 対角線ヲ  $p,$  $q$ ; 面積ヲ  $S =$  表

ハス

又簡單ノ式メ =

$$a + b + c + d = 2S,$$

$$A + C = 2\alpha, \quad B + D = 2\beta$$

ト置ク マヅ

$$p^2 = a^2 + d^2 - 2ad \cos A = b^2 + c^2 - 2bc \cos C$$

$$\text{ヨリ } 2ad \cos A - 2bc \cos C = a^2 - b^2 - c^2 + d^2 \quad ''$$

ヲ解ク マヅ別 =

$$2ad \sin A + 2bc \sin C = 4S$$

上ノ二式ヲ自乗シテ辺辺相加フレバ

$$4a^2d^2 + 4b^2c^2 - 8abcd \cos 2\alpha = (a^2 - b^2 - c^2 + d^2)^2 + 16S^2$$

ココニ於テ  $\cos 2\alpha$  ヲ  $2\cos^2\alpha - 1$  ニテ置き換フレ

“S”ヲヨリテ形ニ降テ来スコトヲ得。即チ、

$$\begin{aligned}
 16S^2 &= 4a^2d^2 + 4b^2c^2 - 8abcd(2\cos^2\alpha - 1) - (a^2 - b^2 - c^2 + d^2)^2 \\
 &= 4(ad+bc)^2 - (a^2 - b^2 - c^2 + d^2)^2 - 16abcd\cos^2\alpha \\
 &= (-a+b+c+d)(a-b+c+d)(a+b-c+d)(a+b+c-d) \\
 &\quad - 16abcd\cos^2\alpha \\
 &= 16(s-a)(s-b)(s-c)(s-d) - 16abcd\cos^2\alpha
 \end{aligned}$$

$$S = \sqrt{(s-a)(s-b)(s-c)(s-d) - abcd\cos^2\alpha} \quad (1)$$

$$\alpha + \beta = 180^\circ + 180^\circ \Rightarrow \cos\alpha = -\cos\beta$$

∴ ∃ √ 特ニ四辺形ノ内ニ内接スルトキハ

$$\cos\alpha = 0 + 180^\circ \Rightarrow$$

$$S = \sqrt{(s-a)(s-b)(s-c)(s-d)} \quad (2)$$

此ノ公式ハ六世紀ノ印度ノ数学者ブラスマ(Varahamihira)

ノ著書(Brahmagupta)ノ中ニ見セラル所ナリト云フ。

四辺形ノ内ニ外切スルトキハ  $a+c = b+d = s$

$$+ 180^\circ \Rightarrow$$

$$s-a=c, \quad s-b=d, \quad s-c=a, \quad s-d=b$$

$$S = \sqrt{abcd \sin\alpha} \quad (3)$$

## 練習問題

1. 四辺形  $ABCD$  = 於て次ノ恒等式ヲ証セヨ.

$$(1) \sin A + \sin B + \sin C + \sin D = 4 \sin \frac{A+B}{2} \sin \frac{A+C}{2} \sin \frac{A+D}{2}.$$

$$(2) \cos A + \cos B + \cos C + \cos D = 4 \cos \frac{A+B}{2} \cos \frac{A+C}{2} \cos \frac{A+D}{2}.$$

2. 四辺ノ長サ一定ナル四辺形ノ面積ハ内接スルトキ最大トナルコトヲ証セヨ.

3. 四辺形  $ABCD$  ノ内接スルトキハ其ノ面積ハ  $\sqrt{a \cdot b \cdot c \cdot d}$  = 他ノ内接スルトキハ其ノ面積ハ  $\sqrt{a \cdot b \cdot c \cdot d}$  = 等シキコトヲ証セヨ.

4. 対角線ノ長サ  $p$  及 其夾角  $\theta$  ナル四辺形ノ面積ハ  $\frac{1}{2} p^2 \sin \theta$  = 等シキコトヲ証セヨ.

## 第五章 三角形ノ解法ト其ノ應用

## § 29 三角形ヲ解クコト

三角形ノ三ツノ要素ノ中一辺ト残りノ要素ノ  
 中ノニツトヲ知レバ計算ニヨリ他ノ要素ヲ求メ  
 コトカ出来ル。クク未知ノ要素ヲ求メルコト  
 三角形ヲ解クトイフ。尚一般ニ要素ニ限ラス  
 面積、内切円ノ半径等三角形ノ形成ニ必要ナク  
 シモノヲ共ニテ未知ノ要素等ヲ求メル場合ニモ  
 三角形ヲ解クト称スル

## § 30 直角三角形ノ解法

本節テハ  $\triangle ABC$  = 於テ  $C=90^\circ$  トスル 而シ  
 テ直角三角形ノ解法ニハ次ノ四種ノ場合カアル。

(I) 直角ノ一辺  $a$  ト一銳角  $B$  トヲ知ル場合

$$\text{公式 } A=90^\circ-B, \quad c=\frac{a}{\cos B}, \quad b=a \tan B.$$

(II) 斜辺  $c$  ト一銳角  $A$  ヲ知ル場合

$$\text{公式 } B=90^\circ-A, \quad a=c \sin A, \quad b=c \cos A$$

(III) 斜辺  $c$  と他ノ一辺  $a$ ヲ知ル場合

$$\text{公式 } \sin A = \frac{a}{c}, \quad B = 90^\circ - A, \quad b = \sqrt{(c+a)(c-a)}$$

(IV) 直角ノ二辺  $a, b$ ヲ知ル場合

$$\text{公式 } \tan A = \frac{a}{b}, \quad B = 90^\circ - A, \quad c = \frac{a}{\sin A}$$

$$\text{(注意 I, II) } \Rightarrow \text{於テ } \tan \frac{B}{2} = \sqrt{\frac{1 - \cos B}{1 + \cos B}} = \sqrt{\frac{c-a}{c+a}}$$

ヨリ  $B$ ヲ求メ然ル後  $90^\circ - B$ トスルモヨシ、要スルニ公式ノ対数計算ニ便ナモノヲ選フベキヲアル。

(注意 II) 三角形ヲ解キ得タトキハ一應驗算ヲ行フベキモノナル。直角三角形ノ場合ニハ

$$c^2 = a^2 + b^2, \quad \text{又ハ } b = c \cos A \text{ 等ノ計算ニ用ヒナシ}$$

ワテ公式ニヨリテ驗算ヲ行ハ。但對數ヲ用フハ近似計算ナルカウ全ク一致スルコトハ稀チ略一致スレバヨイトスル。

(注意 III) 本章中ハ總テ五術ノ對數表ヲ使用スル。

(例題)  $a = 123.4$  (米)  $c = 200$  (米)ヲ知ツテ、他ノ要素ヲ求ム。



(解) (III), 公式 = ヲリ

$$\sin A = \frac{a}{c}$$

$$\log \sin A = \log a - \log c$$

$$\log a = 2.09132$$

$$\log c = 2.30103 (-)$$

$$\log \sin A = 1.79029$$

$$= \log \sin 38^\circ 5' 53''$$

$$\therefore A = 38^\circ 5' 53''$$

$$B = 90^\circ - A = 51^\circ 54' 7''$$

$$\text{驗 } a = b \tan A$$

$$\log a = \log b + \log \tan A = 2.19684 + 1.89434$$

$$= 2.09128 = \log 12339$$

故 =  $a = 12339$  トナツテ大略計算ノ正シイ

コトヲ知ル,

$$b = \sqrt{(c+a)(c-a)}$$

$$\log b = \frac{1}{2} \{ \log(c+a) + \log(c-a) \}$$

$$\log(c+a) = 2.50994$$

$$\log(c-a) = 1.88423 (-)$$

$$2 \log b = 4.39367$$

$$\log b = 2.19684$$

$$= \log 157.34$$

$$\therefore b = 157.34 \text{ (米)}$$

## 練習問題

次ノ要素ヲ知ラテ三角形ヲ解ケ 但  $C = 90^\circ$

(i)  $a = 1257$   $B = 48^\circ 15' 42''$  (ii)  $a = 493.7$   $A = 69^\circ 45' 30''$

$$(VI) a = 473.65, B = 32^{\circ}47'18'' \quad (VII) c = 50.487, B = 38^{\circ}26'40''$$

$$(VIII) a = 2514.3, c = 4320.7 \quad (IX) a = 60.541, b = 87389$$

### § 31. 一般三角形の解法

要素ノミヲ與ヘテ一般ナル三角形ヲ解クノニ  
 四種ノ場合ガアル 次ニコレ等ノ解法ニツキテ  
 詳述ス。

#### (I) 二角ト一辺ヲ知ル場合

既知ノ二角ヲ  $A, B$  一辺ヲ  $c$  トスル

$$\text{公式 } C = 180^{\circ} - (A + B), \quad a = \frac{c \sin A}{\sin C}, \quad b = \frac{c \sin B}{\sin C}$$

$$\text{驗算式 } c = \frac{(a-b) \cos \frac{C}{2}}{\sin \frac{A-B}{2}} \quad \text{又ハ} \quad \frac{(a+b) \sin \frac{C}{2}}{\cos \frac{A-B}{2}}$$

但コノ第二ノ驗算式ハ  $a, b$  ノ差ノ小ナルトキ  
 二用ヒル

(例題)  $a = 1000, B = 104^{\circ}, C = 24^{\circ}29'20''$  ヲ知ツテ三  
 角形ヲ解ケ

$$\text{(解)} \quad A = 180^{\circ} - (104^{\circ} + 24^{\circ}29'20'') = 51^{\circ}30'40''$$

$$b = \frac{a \sin B}{\sin A}$$

$$\log b = \log a + \log \sin B - \log \sin A$$

$$\log a = 3.00000$$

$$\log \sin B = 1.98690$$

$$- \log \sin A = 0.10639 (+)$$

$$\log b = 3.09329$$

$$= \log 1239.6$$

$$\therefore b = 1239.6$$

$$\text{驗 } a = (b - c) \cos \frac{A}{2} \div \sin \frac{B - C}{2}$$

$$\log a = \log(b - c) + \log \cos \frac{A}{2} - \log \sin \frac{B - C}{2}$$

$$= 2.85128 + 1.95456 - 1.80585$$

$$= 2.99999 = \log 999.98$$

故  $\therefore a = 999.98$  トナリ大略計算ノ正シイノヲ

知ル

$$c = \frac{a \sin C}{\sin A}$$

$$\log c = \log a + \log \sin C - \log \sin A$$

$$\log a = 3.00000$$

$$\log \sin C = 1.61794$$

$$- \log \sin A = 0.10639 (+)$$

$$\log c = 2.72393$$

$$= \log 529.58$$

$$\therefore c = 529.58$$

## 練習問題

1. 次ノ要素ヲ知ツテ三角形ヲ解ケ

-106-

(i)  $a = 274, A = 71^\circ B = 54^\circ$

(ii)  $a = 10, A = 51^\circ 30' 40'' B = 76^\circ$

(iii)  $a = 4584, B = 76^\circ 33', C = 43^\circ 18'$

2 前題 (iii) = 三角形の面積ヲ求ム。

3.  $B = 45^\circ C = 10^\circ, a = 200$  ヲ知リテ、 $b$  ヲ求ム。

解 ヲ

$$\left. \begin{aligned} \log 2 &= 0.30103, \log \sin 55^\circ = 1.91336 \\ \log 1.726 &= 0.23704, \log 1.727 = 0.23724 \end{aligned} \right\} \text{ヲ用ル}$$

ルニトスル。

(四) 二辺トソノ、夾角ヲ知ル場合

既知ノ二辺ヲ  $a$  トソノ、夾角ヲ  $C$  トスル

$$\text{公式 } \frac{1}{2}(A+B) = 90^\circ - \frac{C}{2} \quad \tan \frac{A-B}{2} = \frac{a-b}{a+b} \cot \frac{C}{2}$$

$$c = \frac{(a+b) \sin \frac{C}{2}}{\cos \frac{1}{2}(A-B)}$$

$$\text{驗算式 } c = \frac{a \sin C}{\sin A} \quad \text{又ハ } c = \frac{b \sin C}{\sin B}$$

(注意)  $c$  ヲ求ムルニ當リ、 $c = \frac{a \sin C}{\sin A}$  ヲ用ル

ルニヨイカ實際ノ計算ニハ上式ノ方便ナル (

何故か)。

(例題)  $a = 123$ ,  $b = 321$ ,  $C = 29^{\circ}18'$  7 次へ 7

三角形ヲ解ス。

(解)  $\frac{1}{2}(A+B) = 90^{\circ} - 14^{\circ}38' = 75^{\circ}22'$

$$\log \tan \frac{B-A}{2} = \log(b-a)$$

$$+ \log \cot \frac{C}{2} - \log(a+b)$$

$$\log(b-a) = 2.29667$$

$$\log \cot \frac{C}{2} = 0.548319$$

$$- \log(a+b) = \bar{3}.35262(+)$$

$$\log \tan \frac{B-A}{2} = 1.23248$$

$$\frac{B-A}{2} = 59^{\circ}39'4''$$

$$B = 135^{\circ}1'4''$$

$$A = 15^{\circ}42'56''$$

$$\log c = \log(a+b) + \log \sin \frac{C}{2}$$

$$- \log \cos \frac{B-A}{2}$$

$$\log(a+b) = 2.64738$$

$$\log \sin \frac{C}{2} = 1.40249$$

$$- \log \cos \frac{B-A}{2} = 0.29648(+)$$

$$\log c = 2.34635$$

$$\therefore c = 222.00$$

$$\text{次 } c = \frac{a \sin A}{\sin C} \quad \exists \quad \log c = \log a + \log \sin C - \log \sin B$$

$$= 2.50651 + 1.68920 - 1.84933$$

$$= 2.34638 = \log 222.02$$

故に  $c = 222.02$  トナリ ~~大略計算~~ハ正シイ。

## 練習問題

1. 次ノ要素ヲ與ヘテ三角形ヲ解ケ

i  $a = 82471, b = 63529, C = 43^{\circ}10'$

ii  $b = 21, c = 105, A = 36^{\circ}52'12''$

2.  $a = 4572, b = 3456, C = 66^{\circ}6'28''$  ヲ知ツテ

三角形ヲ解キ且ソノ面積ヲ求ム

### (Ⅳ) 三辺ヲ知ル場合

$$\text{公式 } s = \frac{1}{2}(a+b+c) \quad \tan \frac{A}{2} = \sqrt{\frac{(s-b)(s-c)}{s(s-a)}}$$

$$\tan \frac{B}{2} = \sqrt{\frac{(s-c)(s-a)}{s(s-b)}}, \quad \tan \frac{C}{2} = \sqrt{\frac{(s-a)(s-b)}{s(s-c)}}$$

$$\text{驗算式 } \frac{A}{2} + \frac{B}{2} + \frac{C}{2} = 90^{\circ}$$

(注意)  $\leftarrow \frac{A}{2}$  或ハ  $\cos \frac{A}{2}$  等ノ公式ヲ用ヅル

モヨイカニソ、角ヲ全部求ムル場合ニハ正切ノ

公式ニヨル方便ナル(何故カ)。

(例題)  $a = 15, b = 16, c = 17$  ヲ知ツテ三角形ヲ

解 4.

$$s = \frac{1}{2}(15+16+17) = 24.$$

$$s-a=9, \quad s-b=8, \quad s-c=7.$$

$$\begin{aligned} \log \tan \frac{A}{2} &= \frac{1}{2} \{ \log 8 + \log 7 - \log 24 - \log 9 \} \\ &= \frac{1}{2} \{ 0.90309 + 0.84510 - 1.38021 - 0.95424 \} \\ &= \bar{1}.70687 \end{aligned}$$

$$\therefore \frac{A}{2} = 26^{\circ}59'4'' \quad \therefore A = 53^{\circ}58'8''$$

$$\begin{aligned} \log \tan \frac{B}{2} &= \frac{1}{2} \{ \log 7 + \log 9 - \log 24 - \log 8 \} \\ &= \frac{1}{2} \{ 0.84510 + 0.95424 - 1.38021 - 0.90309 \} \\ &= \bar{1}.75802 \end{aligned}$$

$$\therefore \frac{B}{2} = 29^{\circ}48'18'' \quad \therefore B = 59^{\circ}36'36''$$

$$\begin{aligned} \log \tan \frac{C}{2} &= \frac{1}{2} \{ \log 9 + \log 8 - \log 24 - \log 7 \} \\ &= \frac{1}{2} \{ 0.95424 + 0.90309 - 1.38021 - 0.84510 \} \\ &= \bar{1}.81601 \end{aligned}$$

$$\therefore \frac{C}{2} = 33^{\circ}12'39'' \quad \therefore C = 66^{\circ}25'18''$$

$$\text{驗. } \frac{A}{2} + \frac{B}{2} + \frac{C}{2} = 26^{\circ}59'4'' + 29^{\circ}48'18'' + 33^{\circ}12'39'' = 90^{\circ}0'1''$$

故 = 計算八大略正

## 練習問題

1. 次ノ要素ヲ知ツテ三角形ヲ解ス。

(i)  $a=11, b=13, c=16$ , (ii)  $a=25, b=26, c=27$

(iii)  $a=4584, b=3140, c=3624$

(iv)  $a=222, b=318, c=406$

2. 次ノ要素ヲ知ツテ三ツノ角及ビ面積ヲ求ム

(i)  $a=72.61, b=41.23, c=69.95$

(ii)  $a=74.8, b=102.6, c=125$

(iii) 二辺及ビ一ノ対角ヲ知ル場合

既知ノ二辺ヲ  $a$  及  $b$  トシテノ対角  $A$  ヲ與ヘヨレ  
 得モノトスル

$$\text{公式 } \sin B = \frac{b}{a} \sin A, \quad C = 180^\circ - (A+B), \quad \therefore = \frac{a \sin C}{\sin B}$$

コノ問題ヲハ  $a$  及  $A$  ノ値ノ如何ニヨリ種々ノ  
 場合ヲ生スル

(i)  $\frac{b}{a} \sin A > 1$  ノ場合

コノトキハ  $A$  及  $B > 1$  トナリ本問題ハ不能ナル



(2)  $\frac{b}{a} \sin A = 1$  ナル場合

コノトキハ  $\sin B = 1 \therefore B = 90^\circ$  而シテ

$C = 180^\circ - (A + B)$  ヨリ  $C = 90^\circ - A$  トナルカラ

$90^\circ > A$  ナルコト必要デアル、故ニ  $A < 90^\circ$  ノフ

キニ限リ唯一ツノ解ガアツテ直角三角形ヲ得ル

(3)  $\frac{b}{a} \sin A < 1$  ナル場合

コノトキハ  $\sin B < 1$  トナルカラ  $B$  ハ一般ニニ

ソノ値求メ得テ一ツハ鋭角他ハ鈍角ヲアル今

コノ鋭角ヲ  $B_1$ 、鈍角ヲ  $B_2$  トスルト  $B_1 + B_2 = 180^\circ$

デアル。尚コノ場合ヲ詳細ニ吟味マンニ

(i)  $b < a$  ナルトキハ  $B < A$  ナルベキデアル。

故ニ  $B$  ハ鋭角ニ限ル。従ソテ  $B_1$  ノミヲ解トス

ル。即チ唯一ツノ解ガアル

(ii)  $b = a$  ナルトキ  $B = A$  ナルベキデアル。

故ニ  $A < 90^\circ$  ナルトキニ限リ  $B_1$  ヲ採用シ得ル

即チ唯一ツノ解ガアル。

(iii)  $b > a$  ナルトキハ  $B > A$  ナルベキデアル。

②ノ場合ニハBハ鋭角ニ限ルコトヲ要シナイ。  
 故ニ又シテ  $A < 90^\circ$  ナルトキハBハ  $B_1$  及ビ  $B_2$   
 ヲ採用シ得ル 即チニ通りノ解ガアル。故ニコ  
 ノ場合ヲ兩意ノ場合トイフ。然レ  $A \geq 90^\circ$  ナ  
 ルトキハ  $B_2$  ハ勿論  $B_1$  モ採用シ得ナイ。即チ  
 解ナシ。

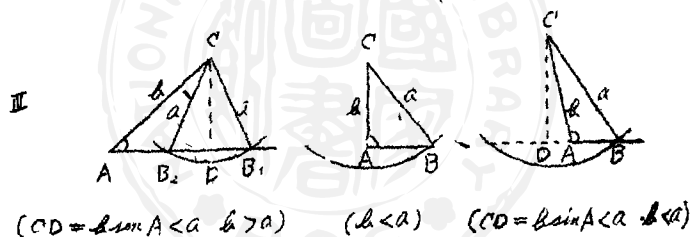
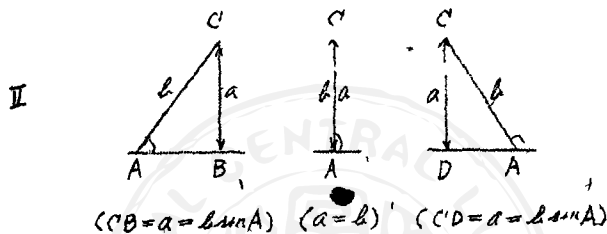
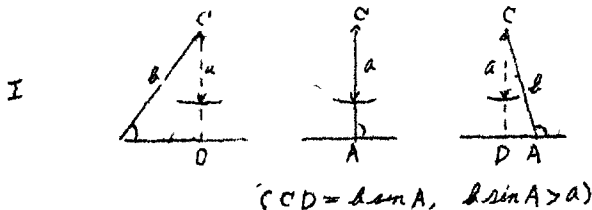
コレヲ要スルニ。

I  $b \sin A > a$  ノ場合 解ナシ

II  $b \sin A = a$  ノ場合  $\begin{cases} A < 90^\circ \text{ ナルトキ一ツノ解ガアル} \\ A \geq 90^\circ \text{ ナルトキ解ハナイ} \end{cases}$

III.  $b \sin A < a$  ノ場合  $\begin{cases} b < a \text{ ナルトキハ一ツノ解。} \\ b = a \begin{cases} A < 90^\circ \text{ ナルトキハ一ツノ解。} \\ A \geq 90^\circ \text{ ナルトキハ解ナク} \end{cases} \\ b > a \begin{cases} A < 90^\circ \text{ ナルトキハ二ツノ解} \\ A \geq 90^\circ \text{ ナルトキ解ナシ} \end{cases} \end{cases}$

尚コレガ圖解ヲスレバ又ノ通りナル。



驗算式 唯一ノ解ガアル場合ハ

$$c = \frac{(a+b) \sin \frac{C}{2}}{\cos \frac{A-B}{2}}$$

ヲ用ヒ、兩意ノ場合ニハ、 $c$ ノ二ツノ値ヲ  $c_1, c_2$  ト

スレバ  $c$ ノ値ハ

$$c^2 - 2bc \cos A + b^2 - a^2 = 0$$

ノニ根ヲアルベキヲ以テ

$$\therefore c_1 = b^2 - a^2 = (b+a)(b-a)$$

ナル關係カアル コレニヨリヲ驗算ヲ行ハハヨ  
イ。

例題1  $a = 255$ ,  $b = 120$ ,  $A = 72^\circ$ , 知リシニ  
角形ヲ解シ

$$\text{(解)} \quad \sin B = \frac{b}{a} \sin A$$

$$\log \sin B = \log b + \log \sin A - \log a$$

$$\log b = 2.07918$$

$$\log \sin A = 1.29553$$

$$-\log a = 3.59346$$

---


$$\log \sin B = 1.56917$$

$$\therefore B = 21^\circ 46'$$

而シテコノ場合  $b < a$  ナリ且ソ

$b \sin A < a$  ナリアルヲ解シ、一ソ

ナル故ニ  $B_2$  採用シナイ

$$C = 180^\circ (52^\circ + 21^\circ 46')$$

$$110$$

$$= \frac{a+b}{\sin A}$$

$$\log c = \log a + \log \sin C - \log \sin A$$

$$\log c = 2.40654$$

$$\log \sin C = 1.19223$$

$$-\log \sin A = 6.03471$$

---


$$\log c = 2.49234$$

$$\therefore c = 3107$$

$$\text{驗} \quad \log c = \log \frac{(a+b)}{2} + \log \sin \frac{C}{2} = \log \cos \frac{A-B}{2}$$

$$= 1.2 - 77030, -1.1 + 51$$

$$= 2.47233 = \log 310.69$$

故  $c_1 = 310.69$  トナリ大略計算ハ正シイ

(例題) 2.  $a = 4584, b = 5140, A = 60^\circ 10'$  ヲ知ツ

テ三角形ヲ解ケ

解)  $\log a = B - \log b$

$$+ \log \sin A - \log a$$

$$\log b = 3.71096$$

$$\log \sin A = 1.93826$$

$$- \log a = 4.53876 (+)$$

---


$$\log \sin B = 1.8798$$

$$\therefore B_1 = 76^\circ 35'$$

而シテ  $b > a$  テ

$$b \sin A < a \text{ 且ツ } A < 90^\circ$$

テアルカラ兩角ノ場合

テアル 故 =

$$B_2 = 76^\circ 35'$$

(I)  $B_1 = 76^\circ 35'$  トテ

$$C_1 = 43^\circ 15'$$

$$\log b = 3.66124$$

$$\log \sin C_1 = 1.83381$$

$$- \log \sin A = 0.06174 (+)$$

---


$$\log c_1 = 3.55879$$

$$\therefore c_1 = 3620.7$$

(II)  $B_2 = 103^\circ 25'$  トテ

$$C_2 = 16^\circ 25'$$

$$\log a = 3.66124$$

$$\log \sin C_2 = 1.45120$$

$$- \log \sin A = 0.06174 (+)$$

---


$$\log c_2 = 3.17418$$

$$\text{又ハ } B_2 = 103^\circ 25'$$

$$\therefore c_2 = 1493.4$$

$$\text{又ハ } c_1 c_2 = b^2 - a^2 = (b-a)(b+a)$$

$$\log c_1 + \log c_2 = \log(b-a) + \log(b+a)$$

$$\log c_1 + \log c_2 = 3.55879 + 3.17418 = 6.73297$$

$$\log(b-a) + \log(b+a) = 2.74507 + 3.98784 = 6.73291$$

故ニ大略計算ハ正シイ。仍テ求ムル解ハ次

ニ通りナル。

$$\left. \begin{array}{l} B_1 = 76^\circ 35' \\ C_1 = 43^\circ 15' \\ c_1 = 3620.7 \end{array} \right\} \text{又ハ} \left\{ \begin{array}{l} B_2 = 103^\circ 25' \\ C_2 = 16^\circ 25' \\ c_2 = 1493.4 \end{array} \right.$$

### 練習問題

1. 次ノ要素ヲ知ツテ三角形ヲ解ケ

(i)  $a = 528, b = 252, A = 124^\circ 34'$

(ii)  $a = 1952.1, b = 448.8, A = 42^\circ 16' 42''$

(iii)  $a = 283.4, c = 348.5, A = 32^\circ 15'$

## §32 高さ、距離、測定

三角形解法ノ應用トシテ測量問題ノ至ラモノ  
ヲ考見セン。

(I) 水平面上ニ直立スル物体ノ高さヲ測定

(第一) 物体 AB ノ基点

B = 達シ得ル場合

基点 B ト同水平面上ニ  
一点 C ヲトリ BC ノ距離ヲ測ツテ  $a$  トシ、次ニ C  
ニ於テ頂点 A ノ仰角  $\angle BCA$  ヲ測ツテ  $\alpha$  トスレバ  
AB ノ高さハ

$$AB = a \tan \alpha$$

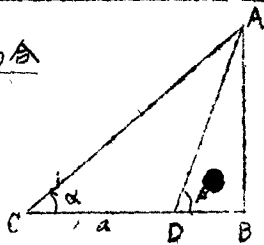
カラホメツコトガ出スル。

(第二) 基点 B = 達シ得ザルモノノ水平面上 = B

ヲ過ル基線 C'D ヲシテ得ル場合

CD,  $\angle ACB$   $\angle ADB$  ヲ測

ツテホメ、 $\alpha$   $\beta$  トスレバ、



$\triangle ACD \cong \exists$ リ

$$AD = \frac{a \sin \alpha \sin \beta}{\sin(\beta - \alpha)}$$

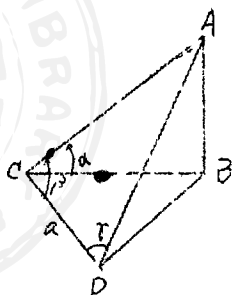
次 =  $\triangle ADB = \exists$ リ

$$AB = AD \sin \beta = \frac{a \sin \alpha \sin \beta}{\sin(\beta - \alpha)}$$

故 = ABヲ求メルコトが出来ル。

(第三) 物体 ABノ基点ニ達シ得ズ。又ソノ水平  
面上ニ Bヲ過ル基線ヲトリ得ナイ場合

先ツ Cヨリ任意ノ方向ニ基  
線 CDヲ定メテ Vノ長サヲ測  
ツテ Rトシ又  $\angle ACB, \angle ACD$   
 $\angle ADC$ ヲ測ツテ夫々  $\alpha, \beta, \gamma$ ト  
スル。サウスレバ  $\triangle ACD \cong \exists$



リ

$$AC = \frac{a \sin \gamma}{\sin(\beta + \gamma)}$$

故 =  $\triangle ABC \cong \exists$ リ,

$$AB = AC \sin \alpha = \frac{a \sin \gamma \sin \alpha}{\sin(\beta + \gamma)}$$

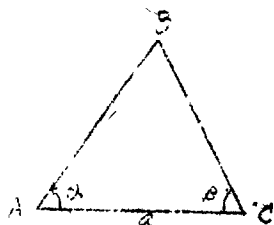
仍ツ ABヲ求メ得ル。

(四) 観測点 Aヨリ達シ得ナイ点 Bマデノ距離ノ



## 測定

適宜ノ所ニ基線 BC を選  
 び且ソノノ両端 A, C ヨリ B  
 を望見シ得ルモノヲスル 今



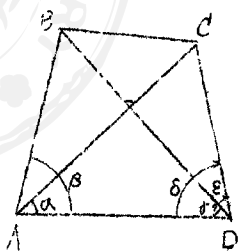
AD,  $\angle EAC$ ,  $\angle BCA$  を測リテ夫々  $a, \alpha, \beta$  トスル  
 サウスレバ  $\triangle ABC$  ヨリ

$$AB = \frac{a \sin \beta}{\sin(\alpha + \beta)}$$

ヲ得テ AB ヲ求ムルコトカ出来ル。

(四) 観測点 A ヨリ達シ得ルノ二点 B, C 間ノ距離ノ測定

適宜ノ所ニ基線 AD を選  
 び且ソノノ両端 A, D ヨリ B  
 及 C を望見シ得ルモノト



スル。今  $AD = a$ ,  $\angle CAD = \alpha$ ,  $\angle BAD = \beta$ ,  $\angle BDA = \gamma$   
 $\angle CDA = \delta$ ,  $\angle BDC = \epsilon$  ヲ測ル サウスレバ

$$\triangle ABD \quad \text{ヨリ} \quad BD = \frac{a \sin \beta}{\sin(\beta + \gamma)}$$

$$\triangle ACD \quad \text{ヨリ} \quad CD = \frac{a \sin \alpha}{\sin(\alpha + \delta)}$$

仍テ  $\triangle BCD$  = 於テニ辺トノ夾角トヲ知り  
得ルカヲコレヲ解ラコトガ出來ル。故ニ  $BD = c$ 、  
 $CD = b$  トオケバ

$$\tan \frac{B-C}{2} = \frac{b-c}{b+c} \cot \frac{E}{2}$$

ヨリ  $\frac{B-C}{2}$  ヲ求メ、次ニ、

$$BC = \frac{(b+c) \sin \frac{E}{2}}{\cos \frac{B-C}{2}}$$

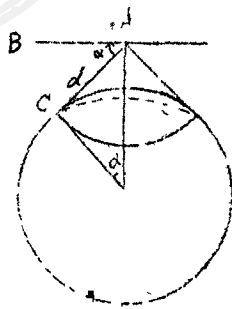
ヨリ  $BC$  ヲ求メル

(注意)  $\varepsilon < \pi$ 、 $A, B, C, D$  が同一平面上ニアル上  
キハ  $\varepsilon$  ハ測ルニ及ハナイ コノ場合ニハ

$\varepsilon = \delta - \gamma$  テアル。

#### (IV) 視界半径ノ測定

地球ノ表面ヲ球面ト考ヘ  
ソノ半径ヲ  $r$  トスル 今地  
球上ノ一地点カラ  $A$  ナル高  
サニアル点  $A$  ヨリ展望シ得  
ル範囲ノ限界ハ  $A$  ヨリ引イタ切線  $AC$  ノ切点  $C$



軌跡ナル一ツノ小円ヲアル。仍テ AC ヲ  $\alpha$  ヲ  
表ハシ。コレヲ  $h$  ナル高サニ於ケル視界半径ト  
ス。又平面 AOC 内ニ於テ AC ト Aニ於ケル  
水平線 AB トノナス角ヲ  $\alpha$  トシコレヲ視界俯角  
トシテサソスレバ

$$\begin{aligned}\cos \alpha &= \frac{r}{r+h} = \left(1 + \frac{h}{r}\right)^{-1} \\ &= 1 - \frac{h}{r} + \frac{h^2}{r^2} - \dots\end{aligned}$$

$r$  ニ比シテ  $h$  ハ極メテ小ナルカラ  $\left(\frac{h}{r}\right)$  ノ二次  
及ビソレ以上ノ項ヲ省略スル

$$\cos \alpha = 1 - \frac{h}{r}$$

スルコトカ出来ル。次ニ

$$\begin{aligned}d &= \sqrt{(r+h)^2 - r^2} = \sqrt{2rh + h^2} \\ &= r\sqrt{2\frac{h}{r} + \left(\frac{h}{r}\right)^2}\end{aligned}$$

$$\therefore d = r\sqrt{2\frac{h}{r}} \quad \text{又ハ} \quad d = \sqrt{2hr}$$

トナレ得ル。

(例題) 坂道ノ頂上カラ平地上ニアル一地点  
ヲ観測シテ俯角  $30^\circ$  ヲ得タ。ソレヨリ坂路ヲ

$\frac{3}{4}$  下ツテ再ビ前一点ヲ觀測シテ俯角  $15^\circ$  ナリ

タ コノ坂路ノ傾斜ヲ求ムルコト

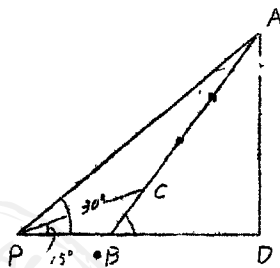
$$\tan \alpha = \frac{3}{3\sqrt{3}-2}$$

アアルコトヲ証明セヨ

(解) 平地上ノ地点ヲ P,

A 及ビ C ヲ第一第三

觀測点トスル



$$\angle APC = \angle CPB = 15^\circ + \text{ルカ} =$$

$$\frac{AP}{BP} = \frac{AC}{BC} = \frac{3}{1}$$

又  $\triangle APB \cong \triangle PCB$  ヲリ

$$\frac{AP}{\sin \alpha} = \frac{PB}{\sin(\alpha - 30^\circ)}$$

$$\therefore \frac{\sin \alpha}{\sin(\alpha - 30^\circ)} = \frac{3}{1}$$

$$\text{コレヨリ } \sin \alpha = 3(\sin \alpha \cos 30^\circ - \cos \alpha \sin 30^\circ)$$

$$\therefore \tan \alpha = \frac{3}{3\sqrt{3}-2}$$

(例題) 2 其ヘラレタ三角形ノ二辺ヲ夫々其ヘラレタ角ニ覆ルマウナ点ヲリノ三角形ノ平面内ニ求メルコト

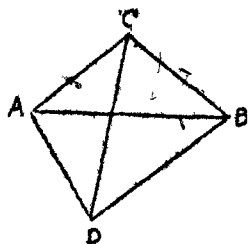
(解)  $\triangle ABC$  7 夾  $\angle C$  へ  $D$  を

三角形トシ  $D$  を求ム点ト

スル。而シテ  $D$  ヨリ  $AC$  邊

$AC$   $BC$  ヲ視ル角  $ADC$ ,  $BDC$

ヲ夾  $\angle C$  へ  $D$  角トシ夾  $\alpha$   $\beta$  トス。



次ニ、 $\angle DAC = x$ ,  $\angle DBC = y$  トオケバ  $x, y$  ヲ決

定スルコト = ヨリ  $D$  ノ位置ハ定マル

$$\text{サテ } x + y = 360^\circ - \alpha - \beta - C \quad (1)$$

$$\text{又 } DC = \frac{a \sin x}{\sin \alpha} = \frac{a \sin y}{\sin \beta}$$

$$\text{今 } \tan \phi = \frac{a \sin \alpha}{b \sin \beta} \text{ トオケバ } \frac{\sin x}{\sin y} = \tan \phi$$

$$\text{故ニ } \frac{\sin x - \sin y}{\sin x + \sin y} = \tan(\phi - 45^\circ)$$

$$\text{即チ } \tan \frac{x-y}{2} = \tan \frac{x+y}{2} \tan(\phi - 45^\circ)$$

$$= \tan(45^\circ - \phi) \tan \frac{\alpha + \beta + C}{2}$$

コレヨリ  $x-y$  ヲ求ム得ル。カクシテ (1) ト

値カヲ  $x, y$  ヲ決定シ得ル。コノ問題ヲ

*pothenot* ノ問題トイフ。

# 練習問題

1. 或ル地点ヲ丘上ニ直立スル塔ノ頂点及ビソノ基底ノ仰角ヲ測ンテ夫々 $\alpha$ 、 $\beta$ ヲ得タ、又ソレカラ塔ニ向ツテ $d$ ヲケ進ツヅイテ再ビ塔頂ノ仰角ヲ測ンテ $\theta$ ヲ得タ、丘ノ高サハ、

$$\frac{d \sin \theta \cos \alpha \tan \beta}{\sin(\theta - \alpha)}$$

ヲアルコトヲ證セヨ。

2. 某山頂カラ正東ニ當ツテA地点ヲ瞰ルル。仰角 $30^\circ$ ヲアツタ。又南 $30^\circ$ 西ノ方向ニB地点ガアツテソノ俯角 $45^\circ$ ヲアルトキA、B間ノ距離ヲ求ム。但AトBトハ同一水平面上ニアツテ山頂ノコノ水平面ヨリノ高サヲ246メートルスル。

3. 水平面上ニ三角形ヲ形成スル三地点A、B、Cカラ或山頂ノ仰角ヲ測ンテニ何レモ $\alpha$ ヲアツタ。サウスルト山ノ高サハ

$$\frac{2}{a} \tan \alpha \operatorname{cosec} A'$$

テアルコトヲ証セヨ 但  $A, a$  ハ  $\triangle ABC$  ノ一角  
Aトソノ対辺  $a$ ヲ表ハス

- 4 海面上ノ高さ  $h$  米ナル船上ヲ海面上ノ高  
サ  $h_0$  米ナル燈台ノ光ヲ下度水平線上ニ認メ  
タ 燈台カラ船マデノ距離ヲ求ム



民國三十五年十月十四日

(第一版印刷)

不 複

許 製

編者 台北市宮前街七四號

李 偉 器

發行者 台北市宮前街七四號

光明新數學普及會

代表者 李 偉 器

印刷者 台北市宮前街七四號

華 林 印 刷 所

王 登 本